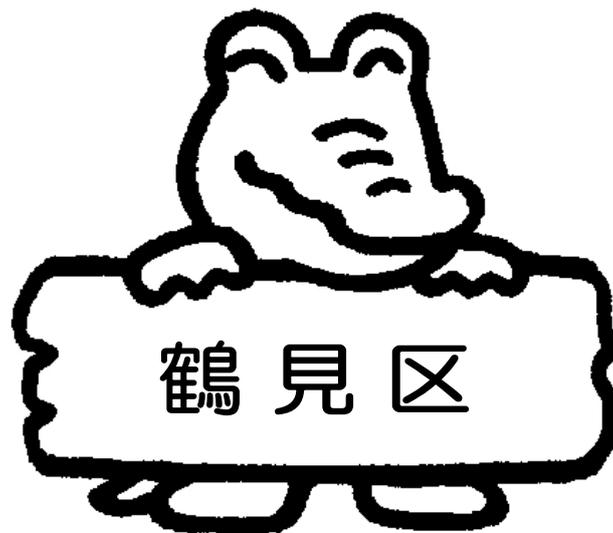


令和4年第3回

区づくり推進横浜市会議員会議

会議資料



令和4年8月31日

目 次

議題 1

令和 3 年度 鶴見区個性ある区づくり推進費 決算について
..... P 1

議題 2

令和 4 年度 鶴見区個性ある区づくり推進費
自主企画事業費の執行状況について
..... P 37

議題 3

令和 5 年度 鶴見区予算編成の考え方について（案）
..... P 70

令和4年第3回

区づくり推進横浜市議員会議

議 題 1

**令和3年度 鶴見区個性ある区づくり推進費
決算について**

令和3年度 鶴見区個性ある区づくり推進費 決算	3
1 地域力の強化	
1 防災活動推進事業【重点】	4
2 放置自転車対策事業	6
3 交通安全推進事業	7
4 鶴見区防犯活動支援事業	8
5 自治会町内会振興事業	9
6 つるみ・地域の課題解決サポート事業	10
7 鶴見・あいねっと推進事業	11
8 「広げよう見守りの輪」推進事業【重点】	12
2 区内経済・活力の向上	
9 「千客万来つるみ」プロモーション事業	14
10 多文化のまち・つるみ推進事業【重点】	14
11 商店街魅力発信事業	17
12 鶴見区民まつり支援事業	17
13 地域文化・区民活動推進事業	18
14 区民スポーツ振興事業	19
3 子どもから大人まで安心・元気に	
15 ヘルスアッププラン	20
16 感染症対策事業	21
17 鶴見区障害児・者暮らしいきいき事業	22
18 鶴見区高齢者はつらつ生活応援事業	23
19 つるみDE子育て応援事業	24
20 つるみの未来を育てる保育所事業	25
21 鶴見区虐待予防事業	27
22 生活衛生サポート事業	28
23 青少年健全育成事業	29
24 鶴見区環境行動推進事業	31
25 つるみクリーンタウン事業	31
4 区民サービスの向上	
26 鶴見区広報・広聴事業	35
27 発見つるみ！～データでみる鶴見区～	35
28 鶴見区人材育成推進事業	36
29 魅力ある区役所づくり事業	36

※ 本文では令和3年度決算について記載のうえ、新型コロナウイルス感染症拡大防止に係る対応の影響による変更点等を、◆(網掛け)で注記しています。

令和3年度 鶴見区個性ある区づくり推進費 決算

(単位：千円)

区 分	予 算	決 算	差 引
自主企画事業費 区が独自に企画し、区が自ら執行する事業に係る経費	109,761	104,330	5,431
地域力の強化 (災害に強いまちづくり、地域の力やつながりを育むまちづくり)	36,932	35,783	1,149
区内経済・活力の向上 (多文化共生のまちづくり、鶴見の魅力を活かしたまちづくり)	31,135	24,386	6,749
子どもから大人まで安心・元気に (福祉のまちづくり)	21,793	21,147	646
区民サービスの向上 (おもてなしの気持ちあふれるサービス提供)	19,901	23,014	△ 3,113
一般管理費	790,150	793,244	△ 3,094
統合事務費 区の事務・運営を行うために必要な経費	33,925	32,117	1,808
統合事業費 各区で共通している事業で区の裁量が少ない事業に係る経費	20,431	17,446	2,985
区庁舎・区民利用施設管理費 区庁舎・区民利用施設の管理運営に係る経費	735,794	743,681	△ 7,887
個性ある区づくり推進費 計	899,911	897,574	2,337

令和3年度個性ある区づくり推進費自主企画事業費等決算について

1 地域力の強化

事業名	事業概要
<p>1 防災活動推進事業 【重点】</p> <p>予算 (13,373,000 円) 決算 (13,975,653 円) 差引 (△602,653 円)</p>	<p>風水害、地震及び都市災害等に備え、地域における自助・共助の取組推進、感染症対策を踏まえた地域防災拠点及び区本部機能の強化・維持、関係機関等との連携を促進し、防災力の向上を図りました。</p> <p>1 自助・共助推進事業 地域の防災情報や防災イベント・研修会等の機会を捉えた防災啓発を実施するほか、地域における共助のための自主的な取組に対して補助金を交付しました。</p> <p>(1) 「まちなか」に重点を置いた防災情報啓発事業 ア 「まるごとまちごとハザードマップ」の更新 イ 郵便ポストを活用した防災啓発【新規】</p> <p>(2) 地域防災拠点の運営力強化 地域防災の要である地域防災拠点について、感染症対策を踏まえた衛生用品の購入や、備蓄資機材の点検・修繕を行いました。また、地域防災拠点を担当する防災参与等の研修を行いました。</p> <p>ア 地域防災拠点参与研修：5月 イ 地域防災拠点運営委員会連絡協議会：5月 ウ 全地域防災拠点での運営訓練：8～2月</p>
	<p>【区配事業】横浜市地域防災活動支援事業 (総務局) 地域防災拠点運営委員会の自主的な活動を奨励し、地域防災拠点の運営を円滑に行えるよう、助成金を交付しました。</p>
	<p>(3) 共助のための防災活動支援事業 地域防災力向上を目的として、共助のための自主的な活動を支援しました。(補助額最大15万円)</p>
	<p>【区配事業】町の防災組織活動支援事業 (総務局) 大地震等の災害防止、軽減、予防のため、自治会町内会、共同住宅の管理組合等を単位として自主的に設置運営される、「町の防災組織」を支援するために補助金を交付しました。</p>
	<p>(4) 鶴見川防災対策事業 鶴見区水防協議会の水防資機材購入支援、鶴見川の防災機能整備促進・強化に向けた国への働きかけを行いました。</p>

- (5)防災講座による啓発活動
 - ア 出前防災講座
 - 実施：6～3月（延18回）
 - 会場：自治会町内会館、防災訓練会場、各ケアプラザ等
 - イ つるみっこ防災塾（小学校高学年向け防災教室）
 - 実施：9～3月（5校）
 - 内容：地域特性、街歩き、マップ作り等の防災授業
 - ウ 京浜河川事務所が主催する鶴見川防災情報講座の支援
 - 実施：11～12月（全3回）
 - 対象：鶴見川沿いの連合町内会（1団体）

【区配事業】地域の防災力を向上させる防災啓発事業 （総務局）
 若年層における防災意識向上を図るため小学校と連携し、防災を学ぶ授業の一環として、横浜市民防災センターの見学会を実施しました。

- 2 区本部機能等強化事業
 - 実災害に対応するための区本部機能の強化を図りました。
 - (1)災害対応力及び区本部機能の強化
 - ア 区役所職員の防災意識向上及び災害対応力強化の研修、区災害対策本部運営及び設営訓練の実施。
 - 区本部訓練：2月
 - 職員研修：10～3月
 - ◆動画配信や規模縮小で実施
 - イ 感染症対策を踏まえた区本部用資器材の整備
 - ウ 土砂災害時の連絡体制確保のためのIP無線機の導入
 - (2)つるみ生活・防災マップ
 - つるみ生活・防災マップを時点修正の上、増刷しました。
 - 発行：12月
 - 部数：17,000部

【統合事業】緊急時情報システム運用事業
 緊急時情報一斉伝達システムは、電話回線を利用して音声で、区から地域の防災組織の長（自治会町内会長）及び土砂災害時の即時避難勧告対象区域にお住まいの方等に対し緊急情報等を一斉発信し、あわせて双方向機能により受信状況を確認できるものです。このシステムを活用し、災害時等において迅速かつ確実な情報の伝達を実施しています。

- 3 災害時医療体制推進事業
 - 迅速かつ適切な応急対応措置を講じるため、平時から関係機関・団体の連携・協力体制を構築しました。
 - (1)区内医療機関などとの通信訓練
 - 区役所（医療調整班本部）と区内医療機関、市医療局との間で、MCA無線及び衛星携帯電話による通信訓練を実施しました。

	<p>実施：毎月（奇数月 区→区内医療機関等） （偶数月 区→市医療局）</p> <p>※MCA無線：運輸・物流業務、バス運行業務、タクシー等で広く利用されている資格不要のデジタル簡易無線。</p> <p>(2) 鶴見区災害医療連絡会議 行政と関係機関・団体の情報共有や意見交換を図りました。 開催：1月※オンライン、3月※書面開催 構成員：鶴見区医師会、鶴見区歯科医師会、鶴見薬剤師会、 済生会横浜市東部病院、汐田総合病院、佐々木病院、 平和病院、横浜在宅看護協議会、鶴見大学、 鶴見警察署、鶴見消防署、鶴見区社会福祉協議会、 鶴見区役所</p> <p>(3) 鶴見区災害医療訓練 鶴見区災害医療連絡会議の関係団体と各施設の被害状況等の状況を付与した通信主体の訓練を実施し、訓練の内容の振り返りを行いました。 日時：令和4年3月3日（木） 会場：各参加団体の執務室等 ◆オンライン 参加団体：区内医療機関及び関係団体（17団体） 使用機器：MCA無線、衛星携帯電話、災害時優先携帯電話、 イーミス E M I S（広域災害救急医療情報システム）</p>
<p>2 放置自転車対策事業</p> <p>予算（5,650,000円） 決算（5,273,200円） 差引（376,800円）</p>	<p>駅周辺において、安全で安心なまちづくりができるように、自転車等放置防止推進協議会の円滑な活動を支援するとともに、放置台数の多い箇所を中心に放置自転車対策を継続して行いました。</p> <p>1 放置禁止区域内重点対策 放置禁止区域のうち特に放置自転車の多いJR鶴見駅・京急鶴見駅を中心に、駐輪場の利用促進や放置禁止の呼びかけを行う監視員を配置（夜間）するとともに、移動・撤去事業を行う道路局と連携して放置防止対策を実施しました。</p>
	<p>【局事業】 放置自転車等移動・撤去業務 (道路局)</p> <p>JR鶴見駅・京急鶴見駅周辺を重点とし、区内6駅周辺の自転車等放置禁止区域内に放置されている自転車等の移動・撤去を行いました。</p>
	<p>【区配事業】 自転車等放置防止監視員業務委託（昼間） (道路局)</p> <p>JR鶴見駅・京急鶴見駅周辺を中心に、自転車等放置禁止区域内の自転車利用者に対して指導を行いました。</p>

	<p>2 自転車等放置防止推進協議会への支援 各駅協議会の啓発活動を支援しました。 対 象：6 駅（JR鶴見駅・京急鶴見駅・生麦駅・鶴見市場駅・ 矢向駅・尻手駅） 補助金交付：7月</p>
<p>3 交通安全推進事業</p> <p>予算（2,380,000円） 決算（1,411,796円） 差引（968,204円）</p>	<p>安全で安心なまちづくりに向け、交通安全の普及啓発活動を推進するとともに、子どもの交通事故防止のため、スクールゾーン内の安全の確保に努めました。</p> <p>1 交通安全啓発事業 各季全国交通安全事業に合わせて取り組むとともに、警察署等関係機関と連携して、区交通安全対策協議会を運営し、講習会など効果的な啓発活動を展開しました。</p> <p>(1)交通安全運動 実施：各季運動（4月、7月、9月、12月） 新入学児童・園児を交通事故から守る運動（4月） 強化月間運動 ・自転車マナーアップ（5月） ・二輪車交通事故防止・暴走族追放（6月） ・違法駐車、放置自転車・バイク クリーンキャンペーン（10月） ・飲酒運転根絶（12月）</p> <p>(2)区交通安全対策協議会の運営 ア 幹事会・区自治連合会交通部連絡協議会 実 施：6月 イ 総会 実 施：◆書面開催 ウ 交通安全功労者表彰 区内における交通安全と事故防止及び啓発に貢献した個人・団体を表彰しました。 実 施：◆贈呈式中止、個別贈呈</p> <p>(3)交通安全講習会 ア はまっ子交通安全教室（安全歩行、自転車乗り方教室） 実 施：22回 会 場：区内小学校 22校 イ チリリンスクール（自転車乗り方教室） 会 場：区内小学校、保育園、幼稚園など ウ 自転車事故防止の安全教室・講習会 会 場：企業・団体、自治会・町内会など</p>

	<p>(4)新入学児童向けランドセルカバーの製作 鶴見交通安全協会と協力して、「ワックんのイラスト入りランドセルカバー」を製作し、令和4年度の新入学児童に贈呈しました。</p> <p>2 学校への支援 区内小学校 22 校が設置しているスクールゾーン対策協議会を支援しました。 また、土木事務所、警察署と協議・連携しながら、路面表示等の新設・補修・撤去を行いました。</p>
<p>【区配事業】スケアードストレイト（※）方式による交通安全教室の実施委託（道路局）</p> <p>スタントマンが事故の再現を行い、自転車利用時のマナー向上を図る交通安全教室を実施。</p> <p>※スケアードストレイト：交通事故を再現することで、事故につながる危険行為を未然に防ぐ教育</p> <p>◆実施中止</p>	
<p>4 鶴見区防犯活動支援事業</p> <p>予算（ 2,989,000 円） 決算（ 2,433,080 円） 差引（ 555,920 円）</p>	<p>地域防犯力の向上のため、区民の防犯意識を高めるとともに、地域の自主防犯活動を支援しました。</p> <p>1 防犯啓発活動 地域の自主防犯活動を支援しました。</p> <p>(1)犯罪発生情報の提供 パソコンや携帯電話のEメールにより、メーリングリスト登録者(区民)向けに犯罪発生情報を提供しました。</p> <p>(3)振り込め詐欺の注意喚起 警察署や関係機関と連携しながら、啓発物品や広報媒体を活用し、区民への注意喚起を実施しました。</p> <p>2 子ども防犯活動支援事業 子どもを犯罪被害から守るため、支援を行いました。</p> <p>(1)子ども防犯教室の開催 子どもへの犯罪から身を守ることをテーマに、防犯教室を実施しました。 実 施：1月 対 象：保育園2園</p> <p>(2)「子ども110番の家」のプレートの提供 実 施：8、9月 枚 数：200枚</p>

	<p>(3) 児童下校時見守り活動 実 施：毎月10日（横浜市子ども安全の日） 参加団体：横浜市建設業協会鶴見区会、区役所、学援隊等</p> <p>3 地域防犯活動支援事業</p> <p>(1) 防犯パトロール活動支援事業 パトロール活動に必要な物品を希望する自治会町内会に防犯物品を提供しました。</p> <p>(2) 防犯パトロール実施委託 事業委託により、児童の下校見守り及び振り込め詐欺発生抑止を目的として、下校時間帯に区内小学校周辺や振り込め詐欺多発地域を中心に、防犯パトロールを実施しました。 実 施：年24回（7～3月）</p> <p>(3) 迷惑電話防止機器の貸与 振り込め詐欺対策のため、鶴見警察署・鶴見区自治連合会・鶴見区防犯協会・鶴見暴力団排除推進協議会と連携し、区内の高齢者世帯に迷惑電話防止機器を貸与しました。</p>
<p>5 自治会町内会振興事業</p> <p>予算 (2,400,000 円) 決算 (1,836,138 円) 差引 (563,862 円)</p>	<p>地域活動に関連する各種情報や依頼事項を自治会町内会に伝達するとともに、自治会町内会と連携した自治会町内会加入率の向上や、コロナ禍での自治会町内会の活動を支援しました。</p> <p>また、地域社会の振興に尽力された方々に対して、自治会町内会長感謝会にて感謝状及び記念品の贈呈を行いました。</p> <p>1 地域振興連絡事業 区連会定例会後、自治会町内会に行政・団体からの情報や依頼事項等の資料配布を行いました。 実 施：毎月（8月を除く） ◆令和3年9月は書面開催。</p> <p>2 地域活動支援事業【新規】 コロナ禍において、自治会町内会での活動が制限されている中、ICTを活用した会議支援等、地域活動を継続するための支援を行いました。 実 施：通年</p>

	<p>3 自治会町内会長感謝会 自治会町内会長・地区連合町内会長の永年在職者に対して感謝状や記念品を贈呈しました。 実施：3月 感謝状対象：自治会町内会長5年 記念品対象：自治会町内会長5年毎、 地区連合町内会長10年毎</p> <p>◆感謝会は中止。感謝状及び記念品贈呈のみ宅配により実施</p>
<p>【区配事業】地域活動推進費 (市民局)</p> <p>自治会町内会及び地区連合町内会の公益的活動に対して補助金を交付するとともに、市・区との連絡調整や地域活動への加入促進事業等に取り組む区連合町内会へ補助金を交付し、その活動を支援しました。 また、市政及び区政に対する協力活動に対する謝礼として、地区連合町内会長に報償費を交付しました。</p>	
<p>【区配事業】自治会町内会館整備助成事業 (市民局)</p> <p>自治会町内会が行う自治会・町内会館の整備に関する費用に対して、その一部を助成しました。</p>	
<p>6 つるみ・地域の課題解決事業</p> <p>予算 (6,000,000 円) 決算 (8,458,643 円) 差引 (△2,458,643 円)</p>	<p>地域課題のうち、早急な解決が必要な事案等について、区として機動的な対応を行いました。</p> <p>1 地域の課題解決サポート事業 (1)地域の課題解決サポート事業 地域が抱える緊急性の高い課題に対し、区が機動的に対応しました。(鶴見花月園公園開園に係る広報委託 等)</p> <p>(2)鶴見区新たなチャレンジ応援補助金 【新規】 地域の課題解決に取り組む団体等が、その解決のために新たな活動を始めるためのスタートアップを支援しました。 (補助額：最大10万円、補助団体数：5団体)</p> <p>2 広場・遊び場事業【新規】 旧サムエル町のはらっぱの維持管理や土地活用の検討・測量及び子どもの遊び場の新規遊具設置を実施しました。</p>

【区配事業】元氣な地域づくり推進事業

(市民局)

地域の様々な課題解決に取り組む活動のきっかけづくりや、地域の各団体等が連携して、自主的・継続的に地域課題の解決に取り組む活動を支援しました。

(補助内容)

1 つるみ・地域のつながり応援事業補助金

自治会町内会を含む2つ以上の団体が連携した地域課題解決の取組を支援しました。(補助額:最大 30 万円、補助団体数:2団体)

2 つるみ・元氣アップ事業補助金

地域の課題解決に向けて、区民が自主的に取り組む活動の立ち上げを支援しました。(補助額:最大 10 万円、補助団体数:1団体)

3 協働の「地域づくり大学校」

地域や地域活動に関心のある区民と職員の相互交流やネットワークづくりを行うとともに、地域活動に関わるきっかけづくりや地域課題の解決・地域の魅力づくりに向けた実践的な内容を学ぶ場として、地域団体との協働による連続講座等を実施しました。(実施:11月～2月(全6回開催)、参加者:20人)

【区局連携促進事業】

(財政局)

旧サムエル町のはらっぱの緑地広場整備に向け、近隣住民が利用している敷地の道路移管に向けた整備・手続等を実施しました。

7 鶴見・あいねっと推進事業

予算 (2,553,000 円)

決算 (1,171,723 円)

差引 (1,381,277 円)

鶴見区地域福祉保健計画(鶴見・あいねっと)に基づき、地域やボランティア団体等との協働により福祉保健を中心とした様々な地域課題の解決に取り組みました。

1 第4期区計画の策定及び推進

◆新型コロナウイルス感染拡大の影響により、策定時期を1年延長し、令和3年3月に策定しました。

※計画期間：令和3年度から令和7年度まで

(1)あいねっと推進委員会及び策定検討会

区内福祉関係者等からなる推進委員会を開催しました。また、第4期区計画の策定検討会を令和元年度から同委員会内に設置しており、検討会にて計画案を協議しました。

推進委員会：7月、11月、3月

策定検討会：6月、3月

◆推進委員会、策定検討会とも3月は書面開催

	<p>(2)地区別計画の策定及び推進 地域と地区別支援チームの協働により、第4期地区別計画の策定を行い、地域福祉保健活動の推進を図りました。 会 場：区内地域ケアプラザほか 参加者：延約3,000人 <地区別支援チーム> 連合町内会ごとの地区別計画推進の支援を行う、区福祉保健センターの専門職・区社協職員・地域ケアプラザ職員等で構成するチーム。</p> <p>(3)区民意見の募集及び反映 作成した第4期計画素案への区民意見募集を行い、地域住民の意見をくみ取りながら計画を策定しました。 募集期間：11月～12月</p> <p>2 あいねっと推進フォーラムの開催 区計画の周知及び福祉保健活動への参加者を広げる目的で開催し、策定した新計画の発表も行います。 実 施：3月 会 場：鶴見公会堂（非集合を含め、開催形式を検討中） 参加者：約450人 ◆実施中止。</p>
<p>8 「広げよう見守りの輪」推進事業 【重点】</p> <p>予算(1,587,000円) 決算(1,222,468円) 差引(364,532円)</p>	<p>ひとり暮らし高齢者や障害者など支援を必要とする人に対して、地域で日頃から見守り、緊急時や災害時にも役立つ支えあい の関係づくりを進めました。</p> <p>1 定期訪問・見守り活動【拡充】 新型コロナウイルス感染拡大により、いわゆる“新しい生活様式”を踏まえた見守り活動を支援するため、「見守り訪問ガイド（新しい生活様式版）」を作成しました。また、民生委員等主な活動者へ衛生用品（手指消毒液及びサージカルマスク）を配付するなど、訪問・見守り活動の一助となる取組を推進しました。 また、救急医療情報キットを配布し、緊急時の迅速な対応に役立てました。</p>
<p>【区配事業】ひとり暮らし高齢者等「地域で見守り」推進事業（健康福祉局） 75歳以上ひとり暮らし高齢者等の名簿を、区役所から民生委員と地域包括支援センターに提供し、3者で共有して必要な支援につなげます。区内全地区で、名簿をもとに民生委員が各戸訪問等を実施しました。</p>	

2 災害時要援護者支援の仕組みづくり

災害時要援護者支援の取組が 100%の自治会町内会で実施されており、区内 126 自治会町内会のうち 29 自治会町内会には同意方式、97 自治会町内会には情報共有方式による名簿を提供し、地域の支え合いの取組に活用いただきました（4年3月31日現在）。

引き続き、地域で避難を支援する関係者等に対して、区から要援護者情報の提供を行うとともに、地域の取組を支援していきます。

<同意方式と情報共有方式>

同意方式：個人情報の提供について同意があった方の名簿を民生委員に提供

情報共有方式：個人情報の提供について拒否の意思表示がない方の名簿を自治会町内会に提供

令和3年4月1日現在

	対象者数	名簿登載者数	名簿登載率
同意方式	2,829 人	1,619 人	約 57%
情報共有方式	6,630 人	6,028 人	約 90%
合計	9,459 人	7,647 人	約 80%

<名簿に登載される要援護者>

- ・要介護3以上の方
- ・要支援以上のひとり暮らし高齢者
- ・障害者総合支援法のサービスの支給決定を受けている身体障害者、知的障害者、難病患者 など

2 区内経済・活力の向上

事業名	事業概要
<p>9 「千客万来つるみ」プロモーション事業</p> <p>予算（8,000,000円） 決算（7,208,141円） 差引（791,859円）</p>	<p>地域の賑わいをさらに高めるため、鶴見区内の催事や点在する観光資源等を活かし、地域や企業等と連携して、誘客プロモーション活動やイベントを実施しました。</p> <p>1 魅力づくりと区内外への発信 令和4年度前期のNHK連続テレビ小説「ちむどんどん」に先駆けて、「ちむどんどん」横浜鶴見プロジェクトの立上げやプロモーションツール等を作成することで、鶴見区の知名度・認知度向上や機運醸成、魅力発信に取り組みました。</p> <p>2 地域活性化イベントの実施 地域や団体、企業等との協働によって地域活性化に繋がるイベントを実施しました。</p>
<p>【区配事業】 Garden Necklace YOKOHAMA 2021 事業 （環境創造局）</p> <p>Garden Necklace YOKOHAMA 2021 開催に伴い、局と連携した事業を実施しました。</p> <p>「JR鶴見線で巡る緑のスタンプラリー」 4月29日から5月9日まで 参加人数：5,028人</p>	
<p>10 多文化のまち・つるみ推進事業 【重点】</p> <p>予算（14,326,000円） 決算（11,023,873円） 差引（3,302,127円）</p>	<p>「鶴見区多文化共生のまちづくり宣言」に基づき、外国人も日本人も暮らしやすい多文化共生のまちづくりを推進するための取組を実施しました。</p> <p>1 Facebook等による生活情報の発信 (1)外国人向けに行政情報や生活情報に関する情報提供を多言語で行いました。 対応言語：英語、やさしい日本語</p> <p>(2)区庁舎において無料Wi-Fiを提供しました。</p> <p>2 市民通訳ボランティアの配置 鶴見区で最も数が多い中国人の母語である中国語で、区役所業務や行政情報の案内等を行いました。 ◆実施：週1回（金曜日）、13時～17時 場 所：区役所2階 戸籍課 （令和3年5月下旬から再開）</p> <p>3 多文化共生社会の実現に向けた啓発事業 多文化共生を推進するための啓発事業については、◆新型コロナウィルス感染症拡大防止の観点から中止し、今後の施策を検討するための基礎資料とすることを目的に調査を実施しました。</p>

《鶴見区外国人数基礎調査》

概要：住民基本台帳等による区内在住外国人の実態把握

調査項目：国籍、滞在年数、在留資格等

4 鶴見国際交流ラウンジ運営事業

外国人区民に対する相談対応や情報提供を行うとともに、区内の多文化共生を推進する取組を行いました。

(1) 相談対応・情報提供

ア 多言語による相談対応

イ 情報紙「鶴見国際交流ラウンジニュース」の発行
発行：年4回

ウ ホームページの運営

エ SNS を活用した情報発信（区内イベント等も含む）

(2) 各種教室の実施

館内 Wi-Fi を活用したオンライン会議システムの活用など、状況に応じた新型コロナウイルス感染症対策を実施しながら各種教室を実施しました。

ア 託児付日本語教室・暮らしのガイダンス

実施：15回 参加者：延63組

イ 学習支援教室

クラス	実施	参加者	内容
小学生	月2回	延1,010人	
中学生	月4回	延843人	日本語及び教科の他、人材育成研修の実施
夏休み宿題教室	5回	延330人	8月に実施
中学3年生 (入試対策)	8回	延105人	11月～2月に実施

ウ 外国人区民と日本人区民交流イベント

(ア) 交流会の開催

実施：11回 参加者：延101人

◆各イベントの定員は25名としました。

(イ) 3館オープンデー「サルビアわんぱく☆ランド」の開催

鶴見中央コミュニティハウス及び鶴見区民文化センターとの合同イベントを開催しました。

実施日：6月19日（土） 参加者：200人

エ 日本語ボランティア養成講座

クラス	実施	参加者	内容
入門講座	11回	15人	連続講座
ブラッシュアップ講座	5回	延 121人	

(3) 市民の多文化共生に関する活動支援

会議室や機材の貸し出し等、市民の多文化共生に関する活動場所を提供しました（日本語教室、外国につながる子どもたちの学習支援、国際交流活動等）。

【局事業】日本語支援推進事業

（教育委員会事務局）

日本語指導が必要な児童生徒に対して、国際教室の設置をはじめ、母語による初期適応・学習支援、学校通訳ボランティア（保護者向け通訳）、日本語教室、プレクラス、学校ガイダンス、各種ガイドブックの発行等を行いました。

【区配事業】外国人の集住が進む4区の国際交流ラウンジ機能強化

（国際局）

外国人の集住が進む区（鶴見・中・南・緑区）の国際交流ラウンジで、コーディネーターを配置し、地域の課題解決を図りました。

5 多言語対応推進事業

区内の在住外国人数の増加や国籍の多様化に伴い、行政情報の提供に関する多言語対応を強化しました。

- (1) 各課が個別に行っていた資料等の多言語翻訳を一括契約で実施
- (2) 多言語翻訳機の導入
- (3) 複数言語の対応が可能なタブレット端末による通訳サービスの実施

【局事業】区役所窓口等への翻訳・通訳機器配備の充実（国際局）

外国人にとって相談しやすい区役所となるよう、ICT機器の活用を拡充し、区役所窓口及び保育所をはじめとした区行政の様々な現場における対応力を強化しました。

【局事業】区役所窓口におけるタブレットを活用した多言語対応の実施（国際局）

複数言語の対応が可能なタブレット端末による通訳サービスを全区で実施しました。

<p>11 商店街魅力発信事業</p> <p>予算 (1,200,000 円) 決算 (2,187,400 円) 差引 (△987,400 円)</p>	<p>地域コミュニティの核である商店街が地域と連携しながら、商店街の魅力を発信することにより、商店街の振興と地域のにぎわい創出に結びつくよう支援しました。</p> <p>1 商店街魅力発信支援事業【拡充】 商店街と地域が連携した事業に補助金を交付し、支援しました。令和3年度は助成対象を拡充し、区民に区内商店街や店舗に親しみを感じてもらふ機会を増やすとともに、区内ににぎわいを創出しました。</p>
<p>【区配事業】商店街活性化イベント助成事業 (経済局) 商店街が行うイベントにかかる経費の一部を補助しました。</p>	
<p>【局事業】商店街環境整備支援事業 (経済局) 商店街の行う街路灯や防犯カメラ、駐車場、舗道等のハード整備にかかる経費の一部を補助しました。(新設・改修・撤去)</p>	
<p>【局事業】安全・安心な商店街づくり事業 (経済局) 商店街の街路灯の電気・ガス料金の一部を補助しました。</p>	
<p>12 鶴見区民まつり支援事業</p> <p>予算 (3,700,000 円) 決算 (719,776 円) 差引 (2,980,224 円)</p>	<p>鶴見区民のふるさと意識を醸成し、区民相互の交流や連帯を深めるために区民・団体が主体的に取り組む、区民フェスティバルを支援するため、補助金を交付しました。</p> <p>1 三ツ池公園(文化・環境)フェスティバル 文化と環境に関心を持ち、地域社会を育てることを目的として三ツ池公園周辺の6つの地区連合を中心とした実行委員会の企画・運営により実施。 会 場：県立三ツ池公園 内 容：模擬店、PR展示、ステージ発表 フリーマーケット、リサイクルPRイベント等 参加者：50,000人(令和元年度 実行委員会発表) ◆ フェスティバルは実施中止となりましたが、三ツ池公園フェスティバル実行委員会関係者による花火打上げを実施しました。</p> <p>2 つるみ臨海フェスティバル 「みんなで創ろう つるみ臨海部」をテーマに、臨海部に親しみながら、誰もが楽しめるふれあいの場を区民に提供し、子どもから高齢者まで、安心して暮らしていける温かな地域社会、地域づくりを推進することを目的として、区内臨海部の自治会町内会を中心とした実行委員会の企画・運営により実施します。 実 施：10月30日 会 場：入船公園 内 容：模擬店、ステージイベント等 参加者：45,000人(令和元年度 実行委員会発表) ◆ 実施中止</p>

13 地域文化・区民活動推進事業

予算 (2,859,000 円)
 決算 (2,694,844 円)
 差引 (164,156 円)

区民に様々な文化活動の発表の場と、文化・芸術の鑑賞の機会を提供し、文化活動への関心を高め、地域文化の振興を図ります。
 また、区民の地域での活動を促進するため、活動を始めるきっかけとなる講座や担い手を育成する事業を実施しました。

1 地域文化推進事業

鶴見区民文化祭への補助金交付を通じて、区民の文化活動を発表する場と文化・芸術に触れられる機会をつくりました。

実施：10～1月

会場：鶴見公会堂、サルビアホール、鶴見区役所ほか

参加者：延約 4,500 人（令和 3 年度実績）

内容：郷土史展、作品展、音楽・踊り等

◆バザー等一部内容を中止しました。

2 つるみ区民活動センター事業

区民のニーズや地域課題を把握し、区民活動等への支援を行うとともに、中間支援組織として区民利用施設間の連携・協力を促進しました。また、生涯学習・社会教育を推進するため、区民を対象とした学びの場を提供しました。

(1) 相談・コーディネート・機材貸出

(2) 情報提供・ボランティア登録

ア つるみ区民活動センター情報紙「あぶりお」発行

回数：年 6 回（隔月）

部数：延 9,000 部

イ 生涯学習ボランティア「鶴見人ネット」登録

(3) 講座・イベント

講座・イベント名	実施	参加者
◆生涯学習・社会教育推進講座 「つるみ MACHI 塾」 ※オンラインでの配信も実施 ※一部、区民企画による講座を実施	10 回	221 人 (内 68 人 オンライン参加)
生涯学習ボランティア紹介展「鶴見人ネットフェスタ」【新規】(市民活動紹介展「鶴魅力」と合同開催)	1 回	24 団体
市民活動紹介展「鶴魅力」	2 月	140 人
登録団体交流会	3 月	◆中止

	<p>(4)区民利用施設間の連携強化 区民利用施設が連携・協力し、よりよい区民活動支援の体制づくりを進めていくため、施設スタッフ向け研修会・意見交換会を実施しました。 実施：2回 参加者：延28人</p> <p>3 読書活動推進事業 読書推進に関する講演会を開催しました。◆会場開催は中止とし、動画を市YouTubeで配信しました。 実施：2月（つるみ読書講演会）</p>
<p>【区配事業】横浜市民の読書活動推進事業 (教育委員会事務局)</p> <p>「第二次横浜市民読書活動推進計画」及び「第二次鶴見区読書活動推進目標」に基づき、読書関連施設間の情報交換や連携を深めるために「鶴見区読書関連施設連絡会」や「鶴見区の読書活動を広める連絡会」等の取組を実施しました。</p>	
<p>14 区民スポーツ振興事業</p> <p>予算(1,050,000円) 決算(552,100円) 差引(497,900円)</p>	<p>区民が身近にスポーツを楽しめる環境をつくり、健康増進や地域交流の活性化につながるよう、区民スポーツ大会の実施などスポーツの普及・振興を進めました。</p> <p>1 鶴見区スポーツ協会の活動支援 鶴見区スポーツ協会が行う各種目別の区民大会の開催や情報提供の支援を行いました。</p> <p>2 鶴見区ランニングフェスタの開催支援 ◆中止</p>
<p>【区配事業】東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた機運醸成の取組 (市民局)</p> <p>令和2年度に東京オリンピック・パラリンピックの機運醸成を目的として鶴見区独自で作成したフォトモザイクアートをバス等に活用して、広く周知し、大会の機運醸成を図りました。</p>	

3 子どもから大人まで安心・元気に

事業名（予算額）	事業概要
<p>15 ヘルスアッププラン</p> <p>予算（1,893,000円） 決算（2,508,257円） 差引（△615,257円）</p>	<p>多くの区民が「健康」を意識し、積極的に健康づくりのための行動が起こせるよう、民間企業・関係団体等と連携し、健康に関する講座や啓発等の様々な事業を行いました。</p> <p>1 生活習慣病予防 (1)子育て世代への健康啓発 育児教室等の乳幼児を持つ保護者が集まる場を活用し、がん検診等の啓発を行いました。 実施：通年 会場：町内会館等 対象者：乳幼児の保護者</p> <p>(2)運動普及啓発 区民が日常的に無理なく運動を取り入れられるよう、運動啓発のカレンダーを図書館のパネル展や個別の健康相談で配付しました。</p> <p>2 ComeCome（噛む噛む）元気大作戦！（歯科保健事業） (1)親子わくわく歯っぴい講座 親子を対象に、歯みがき実習や唾液検査による歯周病予防の啓発を行いました。 実施：年11回 会場：区役所 参加者：108人 対象者：0～1歳児と保護者</p> <p>(2)歯周病・オーラルフレイル予防等啓発 両親教室（月1回）の機会に啓発を実施。 また、口腔ケア事業やパネル展等でのリーフレット配布や歯の磨き方や健診の大切さを分かりやすく伝えるワックン絵本の保育園、幼稚園、区民利用施設への配布を行いました。</p> <p>3 食育事業 (1)食育イベントおよび食育研修会 6月の「食育月間」や区内スーパーでのイベントで、食育に関する啓発を行いました。 また、食育に携わる関係者を対象とした研修会を3月に実施しました。「新しい生活様式に対応した食育の進め方」について、 ◆新型コロナ感染拡大防止のため、オンライン形式で動画配信で行いました。</p> <p>(2)幼児の食育講座 幼児期からの適切な食習慣の定着、基礎づくりを目指した講座を行いました。</p>

	<p>実施：年6回（9、2月は個別相談に振り替え実施） 参加者：延べ20組 対象者：1～2歳児と保護者</p> <p>(3)食育ミニ講座 ◆新型コロナ感染拡大防止のため3歳児健診の集団指導が休止中のため、食育ミニ講座も休止となりました。 令和4年度からの再開に向けボランティア交流会を行いました。 実施：1回 参加者：6人 対象者：食育ミニ講座に従事するボランティア</p> <p>(4)離乳食教室 健康福祉局予算で実施する離乳食教室について、定員を大きく上回る参加ニーズに対応するため、開催回数を増やしています。 実施：年12回 ※合計24回 （8、9、1、2月は個別相談に振り替えて実施） 参加者：67組 対象者：7～9か月児と保護者</p> <p>4 鶴見区健康づくり推進会議 区内の民間企業や関係団体と健康課題や健康づくりの取り組みを共有し、健康増進に向けた検討を行うため健康づくり推進会議を実施予定でしたが、◆新型コロナ感染拡大防止のため庁内連絡会のみの実施となりました。 実施：1回（庁内連絡会）</p>
<p>16 感染症対策事業</p> <p>予算（ 910,000円） 決算（ 910,000円） 差引（ 0円）</p>	<p>区内施設や区民が、適切に新型コロナウイルス感染症等の予防や拡大防止に取り組めるよう研修及び啓発を行いました。 また、新型インフルエンザ等発生に備え、区職員を対象とした研修及び訓練を行いました。</p> <p>1 感染症対策</p> <p>(1)区内施設向け啓発 新型コロナウイルス感染症やインフルエンザ、ノロウイルス等の感染症の知識や発生時の対応方法について、関連施設に情報提供しました。（11月） 対象：保育所、幼稚園、高齢者・障害者施設 （区内施設549か所）</p> <p>(2)感染症対策指導者養成研修 ◆新型コロナ感染拡大防止のため、オンライン研修へ切り替え、ホームページに感染症関連の情報と動画、啓発資料を掲載しました。 対象：施設の施設管理者、従事者</p>

	<p>2 新型インフルエンザ等対策</p> <p>(1) 区民向け啓発 保健活動推進員や地区の講座等で感染症に関する正しい知識の普及啓発を行いました。 実施：通年 会場：区役所等</p> <p>(2) 区職員向け研修・訓練 新型インフルエンザ発生時の職員対応についての講義と庁舎活用訓練を実施しました。(10、11月)</p>
<p>17 鶴見区障害児・者 暮らしいきいき事業</p> <p>予算 (420,000 円) 決算 (274,752 円) 差引 (145,248 円)</p>	<p>障害児・者及びその家族が地域の中でいきいきと生活できる環境づくりを進め、当事者、関係者、地域の人々が障害について理解し、行動できる仕組みづくりを進めました。</p> <p>1 鶴見区地域自立支援協議会の推進 障害児・者が地域で生活していくことを支援する相談機関が情報・課題の共有、支援の向上を図るための協議会を開催しました。また、協議会を活用して、関係機関職員等の質の向上に資するための研修を実施しました。</p> <p><構成員> 基幹相談支援センター、地域活動ホーム、精神障害者生活支援センター、地域活動支援センター、障害福祉サービス事業所、養護学校、地域ケアプラザ等 88 機関(令和3年度時点)</p> <p>(1) 会議 ・代表者会議：年1回 ・担当者会議：年3回 このほか、専門部会3部会(相談・権利擁護・精神保健福祉)を17回開催しました。 ◆担当者会議を1回、専門部会を2回中止しました。</p> <p>(2) 研修 関係機関職員等の知識・技術の向上やネットワークの構築を図り、業務やケース支援等に生かしていくための研修を実施しました。 実施：年4回</p> <p>2 障害理解の推進 障害者週間に合わせたイベントの実施や福祉施設の自主製品等のPR、販売支援等を行い、区民の障害理解や意識啓発に結びました。 ・障害者週間イベント 障害児・者関係団体等と協働で、施設等紹介パネルの展示や福祉施設の自主製品の販売等、啓発活動を行いました。 実施：12月(障害者週間に合わせて実施) 会場：区役所1階ロビー等</p> <p>3 専門職のスキルアップ研修の実施 社会福祉や保健師等の専門職向けに、困難事例等に対応する上で必要な知識・技術を向上させるための研修を実施しました。 実施：年7回 参加者：延111人</p>

<p>18 鶴見区高齢者は つらつ生活応援事 業 予算 (1,374,000 円) 決算 (935,379 円) 差引 (438,621 円)</p>	<p>高齢者がいつまでも生き生きとした生活ができるよう、認知症対策や介護予防について啓発事業を行いました。特に、オーラルフレイル予防の推進に向け、歯科受診勧奨等について個別通知を行いました。</p> <p>1 認知症普及啓発事業</p> <p>(1) 認知症予防の人材育成研修 地域で認知症予防活動を行っている支援者に対して、「スリーA認知症予防教室」を実施し、認知症予防のプログラムを紹介しました。 R3実績：6月15日（潮田14人）、6月18日（矢向9人）、7月26日（鶴見市場28人）</p> <p>(2) 認知症体験型講座 キャラバン・メイト等のフォローアップを目的とするVR（バーチャル・リアリティ）を利用した体験型の講座を実施しました。 R3実績：参加者31人</p>
---	--

【区配事業】 認知症支援事業

（健康福祉局）

認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り良い環境の中で暮らし続けられるように、医療との連携、介護サービスの適切な提供を推進するとともに、地域の見守りやサービス等を含めた切れ目のない支援体制の構築を目指しています。

- ・認知症高齢者SOSネットワーク
- ・認知症初期集中支援チーム
- ・認知症に関する普及啓発（認知症サポーター養成講座、キャラバン・メイトの育成等）

2 介護予防事業

70歳の高齢者を対象に、オーラルフレイル予防の情報提供と、横浜市歯周病検診（無料）について、個別通知を行いました。また、鶴見区歯科医師会と協働し受診者には歯科医師等がオーラルフレイル予防に関する個別指導を実施し歯ブラシをプレゼントしました。

通知時期及び方法：6月、郵送にて発送

対象者：3,185人

【区配事業】 一般介護予防事業

（健康福祉局）

住民主体の通いの場を充実させ、人と人とのつながりを通じて、参加者や通いの場が継続的に拡大していくような地域づくりを推進し、要介護状態になっても生きがい・役割を持って生活できることを目的に介護予防事業を進めています。

- ・元気づくりステーション事業
- ・地域リハビリテーション活動支援事業
- ・介護予防普及啓発事業（口腔機能向上、ロコモ予防、ひざ体操指導者研修等）

【区配事業】地域包括ケアの推進

(健康福祉局)

横浜型地域包括ケアシステムの構築に向けた鶴見区行動指針に基づき、鶴見区の地域包括ケアシステムを推進しています。

19 つるみ DE 子育て
応援事業

予算 (3,117,000 円)
決算 (6,185,524 円)
差引 (△3,068,524 円)

妊娠中から継続した関わりで、家庭・地域の育児力をアップし、子育て支援の充実と、安心して子育てができる環境を整えました。

1 地域育児教室

原則第1子の0歳児と保護者を対象に月1回程度開催しました。◆また、新型コロナウイルス感染症対策として、予約制としました。

実 施：1会場あたり10回程度

会 場：地区センター、地域ケアプラザ等21か所

2 親子の居場所普及事業

親子が気軽に立ち寄れる、親子の居場所「ふらっとる一む」の運営を支援しました。

実 施：51か所

3 子育て応援情報冊子作成

子育てに関する情報誌「鶴見区子育て応援ガイドブック」を発行しました。

部 数：8,000部

4 多言語窓口子育て支援事業

窓口における接触機会を減らすため、母子健康手帳交付時に行う説明の一部について外国語による動画を作成しました。

5 区長表彰事業

スポーツ・文化の分野において、顕著な功績又は優秀な成績を収めた児童・生徒に対して区長表彰を行いました。

《3年度実績》

個人67名、団体25団体

表彰対象基準：

- ・国際コンクール等への出場
- ・全国コンクール等への出場
- ・関東コンクール等での3位以内の入賞
- ・スポーツ、文化の分野での特に顕著な功績

	<p>6 鶴見区放課後児童健全育成事業に向けた人材育成研修事業 事業者及び職員に対し、児童の安全で安心な放課後の提供のために人材育成研修を開催します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・放課後児童健全育成事業所 48 か所 <p>◆中止</p>
	<p>【局事業】乳幼児一時預かり事業 (こども青少年局) 養育者のリフレッシュを主な目的にした事業です。区内には「まめっこひろば」「実遊保育園つるみ一時保育室」があります。</p>
	<p>【局事業】親と子のつどいの広場 (こども青少年局) 育児にかかわる心身の負担軽減等を図るため、親子の交流や集いの場の提供、情報提供、一時預かりを行う事業です。区内には「はなはなひろば」「キッチン」「こま一ま」「Coron」があります。</p>
	<p>【区配事業】地域子育て支援拠点事業 (こども青少年局) 未就学児の親子を対象に、遊びや交流スペースの提供、子育て相談、子育て情報の提供等を行う拠点として「わっくんひろば」「わっくんひろばサテライト」を設置しています。</p>
	<p>【区配事業】横浜子育てサポートシステム (こども青少年局) 子どもを預かってほしい人と預かれる人が会員登録をして預かりなどの子育てニーズに対応する事業です。子育て支援拠点「わっくんひろば」が事務局を担っています。</p>
	<p>【局事業】産前産後ヘルパー派遣事業 (こども青少年局) 妊娠期または産褥期（5か月未満）にあつて、日中に家事育児の支援を受けられない方にヘルパーを派遣し、育児不安や心身の不調による家事育児負担の軽減を図りました。</p>
<p>20 つるみの未来を育てる保育所事業 予算 (3,634,000 円) 決算 (2,778,597 円) 差引 (855,403 円)</p>	<p>園庭開放など、市立保育所資源を活用した子育ての応援や、区内保育施設等職員に対して保育の質向上を図るための研修を実施しました。また、区内の保育所等一覧及びマップの作成を行い、保育所等の申請等にあたり、分かりやすく案内をすることで、利用者の利便性向上に繋がりました。</p>

1 保育所多文化共生事業

市立保育所が中心となって、区内の保育施設等と一緒に多文化共生研修の実施や、多言語の手遊び歌の動画作成を行いました。この取組により、保育施設等職員や園児の外国文化の理解へ繋がりました。

2 保育所資源活用事業

(1)市立保育所園庭開放

市立保育所の園庭を地域の親子に開放しました。また有償ボランティアを配置し、育児相談等に対応することで市立保育所を活用した育児支援を充実しました。

会 場：市立保育所4園

対象者：地域の子育て中の親子

【区配事業】市立保育所を活用した保育資源ネットワーク構築事業（こども青少年局）

保育の質向上研修等を行います。

◆区内を7か所のエリアに分け、市立保育所を中心に認可保育所や横浜保育室などの保育資源とともに実施する育児支援イベントや交流会は中止

(2)保育所地域ふれあい事業

市立保育所において、地域ふれあい会を開催し、ランチ会などを通して、園児と地域の方々との交流を図ります。

実 施：6月～2月（年数回／園）

会 場：市立保育所4園

対象者：園児及び地域の方々

◆中止

3 保育・教育施設職員研修事業

区内保育施設職員に対して、園児の運動能力を向上させる指導法を学ぶための「運動指導研修」や、子どもにとってよりよい保育環境を整備するための「施設長向けマネジメント研修」を行います。

会 場：区役所会議室、市立保育所等

参加者：延1,000人程度

対象者：市立保育所、民間認可保育所、横浜保育室
認可外保育所、家庭的保育事業、小規模保育事業、幼稚園等

◆中止

4 図書を活用した地域子育て支援事業

市立保育所を会場にして、子育て中の親子向けに絵本の読み聞かせなどのイベントを行うことや、絵本等の貸出を行うことで育児支援や読書の機会の増大に繋がりました。

会 場：市立保育所4園

対象者：地域の子育て中の親子

	<p>5 保育所入所支援事業 認可保育所、地域型保育事業、認定こども園及び横浜保育室の定員、保育時間等及びその位置を周知するため、鶴見区の保育所等一覧・マップ等を発行しました。 <保育所一覧等の発行> 実施：10月、3月 部数：13,000部</p>
<p>【局事業】 保育所の運営 (こども青少年局)</p> <p>令和3年4月開所の認可保育所は5園、小規模保育事業所は5園です。これにより、区内の保育所等は、116園となりました。</p>	
<p>21 鶴見区虐待予防事業</p> <p>予算(2,651,000円) 決算(2,256,020円) 差引(394,980円)</p>	<p>子育てに関する負担を軽減し、児童虐待やDV(ドメスティクバイオレンス)の予防を目指しました。</p> <p>1 親支援講座 子どもとのコミュニケーション学習を目的とした講座と講演会、支援者向け研修会を開催しました。</p> <p>(1)出張講座 実施：年7回 対象：0～3歳児の保護者 内容：ロールプレイを中心とした、子どもとのコミュニケーションのとり方や、効果的な伝え方・ほめ方の練習 ◆6月、3月実施回を中止</p> <p>(2)子育て講演会 実施：年2回 対象：2歳前後の児を持つ保護者 内容：イヤイヤ期への対応を中心とした講義</p> <p>(3)支援者向け研修会 実施：年1回 対象：育児支援関係施設職員等 内容：虐待予防に関する知識の共有 ◆中止</p> <p>2 専門家相談 子育て中の親の不安を軽減するため、専門家による相談を行いました。</p> <p>実施：臨床心理士による子育て中の親の相談(年42回) ◆一部中止により、年30回実施 弁護士による相談(年8回) 精神科医師による精神疾患に関する相談(年6回) ◆一部中止により、年5回実施 学識経験者による児童虐待に関する相談(年10回) ◆一部中止により、年9回実施</p>

	<p>3 虐待予防小中学校等出張講座 潮田中学校3年生を対象に「自分を大切にする」をテーマにした性教育を実施しました。また、助産師を講師に中学校養護教諭・学校カウンセラーとともに、性教育について意見交換を行いました。</p> <p>実 施：中学校3年生対象（2校）（7月、3月） 性的接触、性感染症予防、避妊など</p>
<p>【区配事業】児童虐待予防啓発地域連携事業 （こども青少年局） 児童虐待防止の地域への啓発を行うと共に、関係機関への研修や職員を対象にした専門研修を行い、虐待対応のスキルアップを図りました。</p>	
<p>【局事業】産後母子ケア事業 （こども青少年局） 虐待のリスクが高い母子を対象に、助産所等が、デイケア及びショートステイを行い ①お母さんのケア ②赤ちゃんのケア ③その他指導相談等を行う、養育支援を目的にした事業です。市内8か所の助産院で施しました。</p>	
<p>22 生活衛生サポート事業</p> <p>R 3 （ 876 千円） R 2 （ 991 千円） 差引（△115 千円）</p>	<p>食品・環境衛生に関する最新の情報提供・啓発や、犬猫の適正飼育啓発やねずみ駆除の支援などを行い、区民が安全・安心に快適な生活が送れるようサポートしました。</p> <p>1 食品衛生関係事業</p> <p>(1)ノロウイルスによる食中毒の予防 高齢者施設、病院など重点対象施設への立入指導や、食品提供を行うボランティアへの出前講座などを行いました。</p> <p>ア 鶴見区食事サービス連絡会衛生講習会 実 施：12月 会 場：鶴見区福祉保健活動センター 参加者：35人</p> <p>◆立入指導の縮小、出前講座の中止。</p> <p>(2)食肉を原因とした食中毒の発生防止 食品関係営業施設への立入指導や、講習会などによる啓発を行いました。</p> <p>◆立入指導の縮小。</p> <p>(3)H A C C Pによる衛生管理手法の導入に向けての支援 対 象：食品関係営業者</p> <p>◆立入指導の縮小。</p> <p>2 環境衛生関係事業 ねずみ及び衛生害虫などによる健康被害防止啓発や、駆除相談、駆除機材の貸出などを行いました。</p>

	<p>3 人と動物の共生推進事業</p> <p>(1)動物介在活動ボランティア支援事業 高齢者施設等への訪問ボランティア支援のため、参加する動物及び飼い主の審査会を開催しました。 実 施：11月</p> <p>(2)犬猫の適正飼育の啓発 ア 適正飼育講習会の開催 実 施：8月 ◆実施中止 イ 地域防災拠点訓練等での災害時ペット対策の啓発 ウ 災害時ペット対策パンフレットの印刷 部 数：1,000部</p> <p>(3)飼い主のいない猫対策事業 超音波式ねこ被害軽減機の貸し出しや、地域が取り組む飼い主のいない猫対策への支援を行いました。</p>
<p>23 青少年健全育成事業</p> <p>予算 (2,143,000円) 決算 (1,324,310円) 差引 (818,690円)</p>	<p>青少年の健全育成を図る団体を支援し、健全育成を推進しました。また、地域社会において青少年が健やかに成長する空間の創出を目指し、地域の輪を広げる取組を実施しました。</p> <p>1 青少年交流活動推進事業</p> <p>(1)鶴見区子どもサマーキャンプ事業 小学生の自然体験活動の機会の充実と異年齢交流の促進のため、主催の鶴見区子ども育成会連絡協議会に対し補助金を交付します。また、本事業を通じて、中高生からなる鶴見区ジュニアリーダーズクラブの育成を支援します。 実 施：11月 ◆令和3年度は感染症拡大防止のため中止</p> <p>(2)青少年育成サイエンス交流事業 横浜サイエンスフロンティア高等学校と連携し、青少年の科学への興味関心を高め、想像力や探究心を育むとともに、小学生と高校生との異年齢間交流により、ともに育ち合う機会を創りました。 実 施：12月（2回）</p> <p>2 つるみ子育て・個育ちフォーラム支援事業 区内の青少年に関わる団体・機関からなる「つるみ子育て・個育ちフォーラム」運営委員会に対し、補助金を交付しました。 実 施：11月</p> <p>3 青少年の居場所運営支援事業 地域・団体等による青少年の居場所運営の取組に対し、補助金を交付しました。（1事業の上限は13万円です。） 対 象：区内4事業</p>

【局事業】 よこはま東部ユースプラザの運営補助 (こども青少年局)

地域において不登校やひきこもり状態などにある青少年(15歳~39歳)の自立を支援する「地域ユースプラザ」の運営費を補助しました。

(事業内容)

地域における総合相談(電話相談、来所相談等)、ひきこもり状態からの回復期にある青少年の居場所の運営、社会体験や就労体験プログラムの実施、地域の関係支援機関・区役所とのネットワークづくり、応援パートナーの養成、派遣等

【局事業】 ひきこもり等の困難を抱える若者の専門相談 (こども青少年局)

青少年相談センター所管の補助事業として、鶴見区では東部ユースプラザの地域連携相談員が、毎月2回(第2・第4の水曜日午後)、区役所で相談支援を行います。

支援対象者は横浜市在住で、ひきこもり等の困難を抱える若者15歳から39歳の方とその家族です。

<相談までの流れ>

受付方法：事前に電話等で予約

相談時間：13：30~16：20(各50分・3枠)

当日受付：鶴見区役所3階 こども家庭支援課4番窓口

【区配事業】 寄り添い型生活支援事業 (こども青少年局)

◇つるみ元気塾

生活困窮や養育困難等の課題を複合的に抱えた世帯の小中学生に対して、自信・達成感・肯定感をもたせ、円滑な学校生活を送るための支援・生活体験・総合的な支援を行う支援施設「つるみ元気塾」を運営し、必要な支援等を行いました。

【区配事業】 寄り添い型学習支援事業 (健康福祉局)

◇つるみ未来塾(中学生対象)

生活困窮状態にあるなど養育環境に課題がある子どもたちの将来の自立に向けた基盤づくりのため、中学1~3年生を対象に高等学校等への進学に向けた学習支援を行いました。

◇つるみプラス(高校生世代対象)

生活困窮状態にあるなど養育環境に課題がある高校生の中途退学防止のための居場所づくり事業及び高校生世代(概ね15歳から18歳)の子どもを対象として、社会生活に必要な情報や体験の機会を提供する事業を行いました。

<p>24 鶴見区環境行動推進事業</p> <p>予算 (1,152,000 円) 決算 (502,025 円) 差引 (649,975 円)</p>	<p>地地域、事業者、区民活動団体との連携を一層強め、環境行動の啓発活動を推進しました。</p> <p>1 環境行動PR事業</p> <p>(1) 環境行動のPR (普及啓発)</p> <p>温暖化対策をはじめとした環境行動が、家庭、地域や団体で浸透していくよう、広報よこはま鶴見区版の紙面と鶴見区ホームページ等を活用して脱温暖化・3R夢行動の紹介を行いました。</p> <p>【広報よこはま掲載テーマ (抜粋)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外出時には「マイバック」「マイボトル」を！ (10月) ・宅配便はなるべく一度に受け取りましょう (11月) ・電気やガスの使用料を意識的に減らしましょう (12月) <p>(2) 企業等と連携した区内小中学校向け出張授業・工場見学</p> <p>民間企業等が実施する環境や社会をテーマとした出張授業・工場見学の内容を冊子として取りまとめ、区内の小中学校に配布し、授業での活用を促しました。</p> <p>(3) 地域での啓発活動</p> <p>◆例年、開催をしていた「親子で学ぼう！つるみエコ・クッキング教室」は、令和2年度に引き続き令和3年度も中止となりました。</p> <p>◆地域での各種イベントの中止に伴い、イベントを通した温暖化対策に係るPR活動も見合わせました。</p> <p>2 鶴見区地球温暖化対策・3R夢推進会議 実施：6月</p> <p>3 緑のカーテン事業</p> <p>緑化や省エネ化の促進のため、引き続き、区庁舎及び土木事務所の緑のカーテン、並びに区庁舎の壁面緑化を実施しました。</p> <p>(1) 緑のカーテン 実施：5～11月 場所：区庁舎、土木事務所</p> <p>(2) 壁面緑化 場所：区庁舎壁面</p>
<p>25 つるみクリーンタウン事業</p> <p>予算 (3,623,000 円) 決算 (2,822,095 円) 差引 (800,905 円)</p>	<p>横浜市一般廃棄物処理基本計画「ヨコハマ3R夢 (スリム) プラン」の目標である3R、特にごみと資源のリデュース (発生抑制) による脱温暖化を推進するため、普及・啓発活動を区民と共に推進しました。</p> <p>1 ヨコハマ3R夢推進事業</p> <p>3Rの推進につながる、分別、食品ロスの削減やプラスチックごみの削減に向けた普及、啓発活動を進めました。</p>

(1) 区民向けイベントでの3R啓発

- ア 三ツ池公園フェスティバル(5月)◆中止
- イ つるみ臨海フェスティバル(10月)◆中止
- ウ つるみ3R夢フェスタ(7月)◆中止
- エ つるみ夢ひろば in 総持寺(11月) ◆中止ほか

(2) 食品ロス削減に向けた普及啓発活動

区役所常設の食品回収箱をはじめ、区内各所でフードドライブ活動を実施・支援しました。

(3) 保育園等での環境学習

次代を担う子どもたちに、3Rやプラスチックごみの問題等を知ってもらい、環境に対する意識を高めるため、出前講座を行いました。

実施：小学校2校(5、6月)、中学校及び高校(3月)

(4) 生ごみ堆肥化の普及啓発

生ごみの減量を目的とした環境にやさしい土づくり(土壌混合法)の普及に向けて、公共施設や保育園等での出前講習を行いました。

実施：小学校1校、公共施設1か所、幼稚園1園

(5) 鶴見区地球温暖化対策・3R夢推進会議

実施：6月 <24-2(P.31)再掲>

(6) 分別相談対応

生活様式の変化による家庭ごみの増加や、外国人市民が多いことも踏まえて、多言語版ちらし等を活用するなど、分別相談・啓発を行いました。

2 鶴見区クリーンアップ事業

地域清掃の支援、不法投棄防止に向けた啓発を実施しました。

(1) 鶴見クリーンキャンペーン

地域の各団体(自治会町内会、老人会、企業、学校等)へごみ袋や軍手を配布し、地域の清掃活動を支援しました。

実施回数：年2回

(2) まちかど花壇事業

不法投棄を防止し、「明るく、きれいな街」にするため、花苗を配布し、地域の花壇整備を支援しました。

実施：春・秋(年2回)

参加者：全12団体

	<p>(3)鶴見川クリーンキャンペーン 鶴見川桜・緑化実行委員会の主催で、地域と共に鶴見川流域の清掃活動を行いました。 実施：6、10月（年2回）</p> <p>(4)喫煙マナー啓発 ポイ捨てや歩きたばこを防止するため、喫煙禁止区域を中心にマナー啓発を行いました。◆街頭啓発は中止</p>
<p>【局事業】不法投棄防止対策事業 (資源循環局) 不法投棄の多い場所において夜間監視パトロールを行いました。</p>	
	<p>(5)道路ふれあい月間 鶴見駅周辺地域で、地域の方や周辺事業者と協働し、打ち水や大規模な一斉清掃、道路に関するPR活動は中止。 実施：8月 ◆実施中止。</p>

道路局・環境創造局の主な局事業及び区配事業

【局事業】踏切対策 (道路局)
「横浜市踏切安全対策実施計画」（平成28年3月）に基づき、古市場踏切の安全対策を進めました。

【局事業】末吉橋架替事業 (道路局)
令和3年12月に車道を仮橋に切り替えるとともに、旧橋の撤去工事等を進めました。

【局事業】(仮称)鶴見川人道橋整備事業 (道路局)
令和3年度は現地の事前調査や河川管理者との協議を進め工事に着手しました。

【局事業】無電柱化推進事業 (道路局)
都市の防災力の向上や安全で快適な歩行空間の形成に向けて、緊急輸送路である環状2号線や鶴見溝ノ口線などについて電線共同溝の整備を進めました。

【区配事業】公園再整備事業 (環境創造局)
整備後一定期間が経過している生麦公園及び小野第三公園について、再整備工事を実施しました。

【区配事業】公園施設改良事業

(環境創造局)

栄町公園ほか12公園について、遊具やベンチなどの施設改良工事を実施しました。

【局事業】下水道整備工事

(環境創造局)

令和3年度より状態監視保全により鶴見地区、矢向地区及び末吉地区で下水道の再整備工事を実施しています。

4 区民サービスの向上

事業名	事業概要
<p>26 鶴見区広報・広聴事業</p> <p>予算 (2,869,000 円) 決算 (3,625,806 円) 差引 (△756,806 円)</p>	<p>区民のライフスタイルの多様化に对应、必要な情報が的確に届くよう様々な媒体を活用し、多角的な広報事業を展開しました。また、区民ニーズや地域の課題を把握し区政運営に反映させることを目的に広聴事業を展開しました。</p> <p>1 ウェブサイト等その他広報事業 (1)区ウェブサイト管理運営し、各種情報を発信しました。 (2)地域情報紙を活用して感染症対策啓発などに関する情報提供を行いました。【拡充】 (3)鶴見区のマスコットキャラクター『ワックン』を活用し、区のPRを展開しました。</p> <p>2 「つるみ生活・防災マップ」等発行事業 (1)つるみ生活・防災マップ 発行：12月 <1-2(2)(P.5)再掲> 部数：17,000部 (2)鶴見区バスマップ 発行：3月 部数：9000部</p> <p>3 広聴事業 横浜市の広聴制度に基づき、区民や地域の声を収集しました。 広聴受付件数〔令和3年度：599件〕</p>
<p>27 発見つるみ！～データでみる鶴見区～</p> <p>予算 (520,000 円) 決算 (371,600 円) 差引 (148,400 円)</p>	<p>鶴見区に親しみを持っていただけるよう、区の概要や各種統計データをコンパクトにわかりやすくまとめた冊子及び戸籍課窓口等で配布するための概要版(A4版1枚)を発行しました。</p> <p>各種統計データは、利用者が活用しやすいようホームページにオープンデータを掲載しました。</p> <p>発行：3月 部数：冊子 1,500部(約1,100部配布済) 概要版 5,000部</p>

<p>28 鶴見区人材育成 推進事業</p> <p>予算 (3,086,000 円) 決算 (6,380,125 円) 差引 (△3,294,125 円)</p>	<p>全職員が鶴見区に対する愛着を持ち“チームつるみ”の一員としてより一層意欲・能力を發揮できるよう人材育成に取り組むとともに庁内のコミュニケーション・情報共有を促進し、業務効率化を図りました。</p> <p>また、区民一人ひとりが人権問題の重要性を認識し、人権感覚を磨く機会となるよう、広報誌の活用等による人権啓発に取り組みました。</p> <p>1 人材育成推進 人材育成や人権啓発、職員企画・提案型など様々な研修を通して、職員として必要なスキルの習得や意識改革を進めました。</p> <table border="1" data-bbox="555 645 1433 1021"> <thead> <tr> <th>研修</th> <th>実施内容等</th> <th>実施時期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">①窓口サービス向上</td> <td>外部評価 (専門家)</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>満足度調査 (来庁者アンケート)</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>全課横断窓口応援</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">②人権啓発研修</td> <td>責任職グループ研修</td> <td>6月～2月</td> </tr> <tr> <td>職員向け研修</td> <td>6月～随時</td> </tr> <tr> <td>③職員企画・提案型研修</td> <td>テーマ募集・研修実施</td> <td>6月～随時</td> </tr> <tr> <td>④改革推進委員会</td> <td>委員募集・取組実施</td> <td>※</td> </tr> </tbody> </table> <p>※新型コロナウイルス感染拡大の影響により実施中止</p> <p>2 人権啓発 区民一人ひとりが人権問題の重要性を認識し、人権に対する理解を深める機会を創出するため、市民向け人権啓発コラムの作成及び広報誌への掲載を行いました。</p> <p>3 ICTの活用促進 ペーパーレスの促進やWeb会議の導入に向け、パソコン等のICT機器の管理・運営等の環境整備を進めました。</p>	研修	実施内容等	実施時期	①窓口サービス向上	外部評価 (専門家)	※	満足度調査 (来庁者アンケート)	※	全課横断窓口応援	※	②人権啓発研修	責任職グループ研修	6月～2月	職員向け研修	6月～随時	③職員企画・提案型研修	テーマ募集・研修実施	6月～随時	④改革推進委員会	委員募集・取組実施	※
研修	実施内容等	実施時期																				
①窓口サービス向上	外部評価 (専門家)	※																				
	満足度調査 (来庁者アンケート)	※																				
	全課横断窓口応援	※																				
②人権啓発研修	責任職グループ研修	6月～2月																				
	職員向け研修	6月～随時																				
③職員企画・提案型研修	テーマ募集・研修実施	6月～随時																				
④改革推進委員会	委員募集・取組実施	※																				
<p>29 魅力ある区役所づくり事業</p> <p>予算 (13,426,000 円) 決算 (12,636,302 円) 差引 (789,698 円)</p>	<p>区民の多様なニーズに的確に対応できるよう、清潔かつ快適な区役所環境の整備を図り、区民が利用しやすい区役所の実現を目指します。また、感染症対策のための消毒・換気等の対応を促進しました。</p> <p>乳幼児を伴って区役所を利用される方の利便性を向上するため、区役所1階の託児施設 (キッズランド) において、月・水・木曜日の8時50分から16時10分 (12時から13時までを除く) までの必要な時間、乳幼児を預かりました。</p>																					

令和4年第3回

区づくり推進横浜市会議員会議

議題 2

令和4年度 鶴見区個性ある区づくり推進費
自主企画事業費の執行状況について

議題2 目次

	ページ
1 地域力の強化	
1 防災活動推進事業【重点】	39
2 放置自転車対策事業	41
3 交通安全推進事業	42
4 鶴見区防犯活動支援事業	43
5 自治会町内会振興事業	44
6 つるみ・地域の課題解決事業	45
7 鶴見・あいねっと推進事業	46
8 「広げよう見守りの輪」推進事業	46
2 区内経済・活力の向上	
9 「千客万来つるみ」プロモーション事業	48
10 多文化のまち・つるみ推進事業【重点】	48
11 商店街魅力発信事業	50
12 地域活性化支援事業	51
13 地域文化・区民活動推進事業	51
14 区民スポーツ振興事業	52
3 子どもから大人まで安心・元気に	
15 ヘルスアッププラン	53
16 感染症対策事業	54
17 鶴見区障害児・者暮らしいきいき事業	55
18 鶴見区高齢者はつらつ生活応援事業	56
19 つるみDE子育て応援事業	57
20 つるみの未来を育てる保育所事業【重点】	58
21 鶴見区虐待予防事業	60
22 生活衛生サポート事業	61
23 青少年健全育成事業	62
24 鶴見区環境行動推進事業	64
25 つるみクリーンタウン事業	65
4 区民サービスの向上	
26 鶴見区広報・広聴事業	68
27 発見つるみ！～データでみる鶴見区～	68
28 鶴見区人材育成推進事業	69
29 魅力ある区役所づくり事業	69

※ 本文では令和4年度予算の執行状況について記載のうえ、新型コロナウイルス感染症拡大防止に係る対応の影響による変更点等を、◆（網掛け）で注記しています。

令和4年度個性ある区づくり推進費自主企画事業費等執行状況

1 地域力の強化

事業名（予算額）	事業概要
<p>1 防災活動推進事業 【重点】</p> <p>R 4（13,770千円） R 3（13,373千円） 差引（ 397千円）</p>	<p>風水害、地震及び都市災害等に備え、地域における自助・共助の取組推進、感染症対策を踏まえた地域防災拠点及び区本部機能の強化・維持、関係機関等との連携を促進し、防災力の向上を図ります。</p> <p>1 自助・共助推進事業 地域の防災情報や防災イベント・研修会等の機会を捉えた防災啓発を実施するほか、地域における共助のための自主的な取組に対して補助金を交付します。</p> <p>(1) 防災講座による啓発活動 ア 出前防災講座 実施：6～3月（延30回程度） 会場：自治会町内会館、防災訓練会場、各ケアプラザ等 イ つるみっこ防災塾（小学校高学年向け防災教室） 実施：7～3月（4校程度） 内容：地域特性、街歩き、マップ作り等の防災授業 ウ 京浜河川事務所が主催する鶴見川防災情報講座の支援 実施：9～11月（全3回） 対象：鶴見川沿いの連合町内会（1団体）</p>
<p>【区配事業】地域の防災力を向上させる防災啓発事業 （総務局）</p> <p>若年層における防災意識向上を図るため小学校と連携し、防災を学ぶ授業の一環として、横浜市民防災センターの見学会等を実施します。</p>	
	<p>(2) 「まるごとまちごとハザードマップ」における啓発活動 区民の方々が地域ごとの浸水リスクを認識できるよう、「まちなか」に重点をおいた啓発ツールである「まるごとまちごとハザードマップ」の更新・啓発を行います。</p> <p>(3) 地域防災拠点の運営力強化【拡充】 地域防災の要である地域防災拠点について、資機材の点検・修繕や、新たに備蓄庫管理の充実化に向けた支援を行います。 また、地域防災拠点を担当する責任職（防災参与）等の研修を</p>

行います。
 ア 地域防災拠点参与研修：5月
 イ 地域防災拠点運営委員会連絡協議会：5月
 ウ 全地域防災拠点での運営訓練：8～2月（31拠点）

【区配事業】横浜市地域防災活動支援事業 （総務局）

地域防災拠点運営委員会の自主的な活動を奨励し、地域防災拠点の運営を円滑に行えるよう、助成金を交付します。

(4) 共助のための防災活動支援事業
 地域防災力向上を目的として、共助のための自主的な活動に対し補助金による支援を行います。（補助額最大15万円）

【区配事業】町の防災組織活動支援事業 （総務局）

災害による被害の予防・軽減のため、自治会町内会や共同住宅の管理組合を単位として自主防災活動を行う「町の防災組織」を支援するため補助金を交付します。

(5) 鶴見川防災対策事業
 鶴見区水防協議会の資機材購入支援や、鶴見川の防災機能整備促進・強化に向けた国への働きかけを行います。

(6) つるみ生活・防災マップ
 つるみ生活・防災マップを時点修正のうえ発行します。
 発行：11～12月
 部数：17,000部

2 区本部機能等強化事業
 実災害に対応するための区本部機能の強化を図ります。

(1) 災害対応力及び区本部機能の強化
 ア 災害対策本部設置運営訓練および職員研修の実施
 区本部訓練：9、1月
 職員研修：11～12月（全6回）
 イ 災害対応に必要な区本部用資機材の購入

(2) 災害ボランティアネットワークへの活動支援【新規】
 日常的な訓練や啓発活動、また発災時に備えた資機材購入等に対し、補助金による支援を行います。（補助額最大30万円）

【統合事業】緊急時情報システム運用事業

災害等に関する緊急情報を、電話を利用して区から直接、防災・減災活動の核である地域の防災組織の長（自治会町内会長）等に対して発信し、あわせて双方向機能を活用して受信状況を確認するシステムを運用します。

	<p>3 災害時医療体制推進事業 迅速かつ適切な応急対応措置を講じるため、平時から関係機関・団体の連携・協力体制を構築します。</p> <p>(1) 区内医療機関などとの通信訓練 区役所(医療調整班本部)と区内医療機関、市医療局との間で、MCA無線及び衛星携帯電話による通信訓練を実施します。 実 施：毎月(奇数月 区→区内医療機関等) (偶数月 区→市医療局)</p> <p>※MCA無線：運輸・物流業務、バス運行業務、タクシー等で広く利用されている資格不要のデジタル簡易無線。</p> <p>(2) 鶴見区災害医療連絡会議 行政と関係機関・団体の情報共有や意見交換を図ります。 開 催：年2、3回程度 構成員：鶴見区医師会、鶴見区歯科医師会、鶴見薬剤師会、済生会横浜市東部病院、汐田総合病院、佐々木病院、平和病院、横浜在宅看護協議会、鶴見大学、鶴見警察署、鶴見消防署、鶴見区社会福祉協議会、鶴見区役所</p> <p>(3) 鶴見区災害医療訓練 鶴見区災害医療連絡会議の関係団体と地元町内会などが連携した災害医療訓練を実施します。 実 施：1月(予定) 会 場：済生会横浜市東部病院、医療救護隊参集拠点(汐田総合病院、鶴見区休日急患診療所、平和病院)、地域防災拠点、福祉避難所、鶴見区役所 など</p>
<p>2 放置自転車対策事業</p> <p>R 4 (5,480千円) R 3 (5,650千円) 差引(△170千円)</p>	<p>駅周辺において、安全で安心なまちづくりができるように、自転車等放置防止推進協議会の円滑な活動を支援するとともに、放置台数の多い箇所を中心に放置自転車対策を継続して行います。</p> <p>1 放置禁止区域内重点対策 放置禁止区域のうち特に放置自転車の多いJR鶴見駅・京急鶴見駅を中心に、駐輪場の利用促進や放置禁止の呼びかけを行う監視員を配置(夜間)するとともに、撤去・移動事業を行う道路局と連携して放置防止対策を実施します。</p>
<p>【局事業】 放置自転車等移動・撤去業務 (道路局) JR鶴見駅・京急鶴見駅周辺を重点とし、区内6駅周辺の自転車等放置禁止区域内に放置されている自転車等の移動・撤去を行います。</p>	
<p>【区配事業】 自転車等放置防止監視員業務委託(昼間) (道路局) JR鶴見駅・京急鶴見駅周辺を中心に、自転車等放置禁止区域内の自転車利用者に対して指導を行います。</p>	

	<p>2 自転車等放置防止推進協議会への支援 各駅協議会の啓発活動を支援します。 対 象：6 駅（JR 鶴見駅・京急鶴見駅・生麦駅・鶴見市場駅・ 矢向駅・尻手駅） 補助金交付：7 月</p>
<p>3 交通安全推進事業</p> <p>R 4 (2,309 千円) R 3 (2,380 千円) 差引 (△71 千円)</p>	<p>安全で安心なまちづくりに向け、交通安全の普及啓発活動を推進するとともに、交通事故防止の対策を進めます。</p> <p>1 交通安全啓発事業 各季全国安全事業に合わせて取り組むとともに、警察署等関係機関と連携して、区交通安全対策協議会を運営し、講習会など効果的な啓発活動を展開します。</p> <p>(1)交通安全運動 実施：各季運動（4 月、7 月、9 月、12 月） 新入学児童・園児を交通事故から守る運動（4 月） 強化月間運動 ・自転車マナーアップ（5 月） ・二輪車交通事故防止・暴走族追放（6 月） ・違法駐車、放置自転車・バイク クリーンキャンペーン（10 月） ・飲酒運転根絶（12 月）</p> <p>(2)区交通安全対策協議会の運営 ア 幹事会・区自治連合会交通部連絡協議会 実 施：2 回 イ 総会 実 施：3 月 ウ 交通安全功労者表彰 区内における交通安全と事故防止及び啓発に貢献した個人・団体を表彰します。 実 施：3 月</p> <p>(3)交通安全講習会 ア はまっ子交通安全教室 実 施：22 回 会 場：区内小学校 22 校 イ チリリンスクール（自転車乗り方教室） 会 場：区内小学校 22 校、その他保育園・幼稚園 ウ 自転車事故防止の安全教室・講習会 会 場：企業・団体、自治会・町内会など</p> <p>(4)新入学児童向けランドセルカバーの配布 鶴見交通安全協会と協力して、「ワックンのイラスト入りランドセルカバー」を製作し、令和 5 年度の新入学児童に配布します。</p>

	<p>2 学校への支援 区内小学校 22 校が設置しているスクールゾーン対策協議会を支援します。 また、土木事務所、警察署と協議・連携しながら、路面表示等の新設・補修・撤去を行います。</p>
<p>4 鶴見区防犯活動支援事業</p> <p>R 4 (2,774 千円) R 3 (2,989 千円) 差引 (△215 千円)</p>	<p>地域防犯力の向上のため、区民の防犯意識を高めるとともに、地域の自主防犯活動を支援します。</p> <p>1 防犯啓発活動 防犯リーダー研修会や犯罪発生情報の提供等で、防犯意識の向上を図ります。</p> <p>(1)地域防犯リーダー研修会 自治会町内会の防犯部等を対象に地域の防犯リーダーの研修会を開催します。 実 施：11 月 参加者：80 人</p> <p>(2)犯罪発生情報の提供 パソコンや携帯電話の Eメールにより、メーリングリスト登録者(区民)向けに犯罪発生情報を提供します。</p> <p>(3)振り込め詐欺の注意喚起 警察や関係機関と連携しながら、啓発物品や広報媒体を活用し、区民への注意喚起を実施します。</p> <p>2 子ども防犯活動支援事業 子どもを犯罪被害から守るための支援を行います。</p> <p>(1)子ども防犯教室の開催 子どもへの犯罪から身を守ることをテーマに、防犯教室を開催します。 実 施：9～3 月 (年 12 回) 対 象：区内保育園等</p> <p>(2)「子ども 110 番の家」のプレートの提供 実 施：7 月 枚 数：200 枚</p> <p>(3)児童下校時見守り活動 実 施：毎月 10 日 (横浜市子ども安全の日) 参加団体：横浜市建設業協会鶴見区会、区役所、学援隊等</p>

	<p>3 地域防犯活動支援事業 地域の自主防犯活動や犯罪発生防止の支援を行います。</p> <p>(1)防犯パトロール活動支援事業 パトロール活動に必要な物品を希望する自治会町内会に防犯物品を提供します。</p> <p>(2)防犯パトロール実施委託 事業委託により、児童の見守り及び振り込め詐欺発生抑止を目的として、下校時間帯に区内小学校周辺を中心に、防犯パトロールを実施します。 実 施：年 20 回</p> <p>(3)迷惑電話防止機器の貸与 振り込め詐欺対策のため、鶴見警察署・鶴見区自治連合会・鶴見区防犯協会・鶴見暴力団排除推進協議会と連携し、区内の高齢者世帯に迷惑電話防止機器を貸与します。 台 数：年 200 台</p>
<p>5 自治会町内会振興事業</p> <p>R 4 (3,115 千円) R 3 (2,400 千円) 差引 (715 千円)</p>	<p>地域活動の振興等に関連する行政や団体からの各種情報や依頼事項を自治会町内会に伝達します。また、加入促進を積極的に行う自治会町内会と連携し、自治会町内会加入率の向上に努めます。</p> <p>加えて、ICTを活用した自治会町内会活動を支援します。 自治会町内会長・地区連合町内会長として地域社会の振興に尽力された方々に対して、自治会町内会長感謝会にて感謝状及び記念品の贈呈を行います。</p> <p>1 地域振興連絡事業 区連会定例会後、自治会町内会に行政・団体からの情報や依頼事項等の資料配布を行います。 実 施：毎月（8月を除く）</p> <p>2 地域活動支援事業【拡充】 ICTを活用した自治会町内会の課題解決や地域活動の促進を支援します。 実 施：通年</p> <p>3 自治会町内会長感謝会 自治会町内会長永年在職者に対して感謝状や記念品を贈呈します。 実 施：3月 感謝状対象：自治会町内会長 5年 記念品対象：自治会町内会長 5年毎、 地区連合町内会長 10年毎</p>

【区配事業】 地域活動推進費

(市民局)

自治会町内会及び地区連合町内会の公益的活動に対して補助金を交付するとともに、市・区との連絡調整や地域活動への加入促進事業等に取り組む区連合町内会へ補助金を交付し、その活動を支援します。

また、市政及び区政に対する協力活動に対する謝礼として、地区連合町内会長に報償費を交付します。

【区配事業】 自治会町内会館整備助成事業

(市民局)

自治会町内会が行う自治会・町内会館の整備に関する費用に対して、その一部を助成します。

6 つるみ・地域の課題解決事業

R 4 (6,050 千円)

R 3 (6,000 千円)

差引 (50 千円)

地域課題のうち、早急な解決が必要な事案等について、区として機動的な対応を行います。

1 地域の課題解決サポート事業

(1) 地域の課題解決サポート事業

地域が抱える緊急性の高い課題に対し、区が機動的に対応します。

(2) 鶴見区新たなチャレンジ応援補助金事業

地域の課題解決に取り組む団体等が、その解決のために新たな活動を始めるためのスタートアップを支援します。

(3) 鶴見花月園公園地域活動応援補助金【新規】

鶴見花月園公園が、「鶴見区民全体が集い・憩い・活動し、親しむ公園」となることを目的に、区民や地域団体等が行う活動を支援します。

(4) 鶴見区地域活動支援アドバイザー派遣事業

地域の課題解決に取り組む団体等が活動を継続・発展させるため、アドバイザーを派遣します。

2 広場・遊び場事業

区内にある返還された広場(旧サムエル町のはらっぱ)の管理を行い、公園整備に向け、関係局や地域と調整を行っていきます。また、子どもの遊び場の遊具撤去または新設を実施します。

【区配事業】 元気な地域づくり推進事業

(市民局)

地域の様々な課題解決に取り組む活動のきっかけづくりや、地域の各団体等が連携して、自主的・継続的に地域課題の解決に取り組む活動を支援します。

(事業内容)

協働の「地域づくり大学校」

地域や地域活動に関心のある区民と職員の相互交流やネットワークづくりを行うとともに、地域活動に関わるきっかけづくりや地域課題の解決・地域の魅力づくりに向けた実践的な内容を学ぶ場として、地域団体との協働による連続講座等を実施します。

<p>7 鶴見・あいねっと 推進事業</p> <p>R 4 (1,347 千円) R 3 (2,553 千円) 差引 (△1,206 千円)</p>	<p>鶴見区地域福祉保健計画（鶴見・あいねっと）に基づき、地域やボランティア団体等との協働により福祉保健を中心とした様々な地域課題の解決に取り組みます。</p> <p>1 第4期区計画の推進 3年度から7年度までを計画期間とする第4期計画について、その推進を図ります。</p> <p>(1)鶴見・あいねっと推進委員会 区内福祉関係者等からなる推進委員会を開催します。 推進委員会：7月、1月</p> <p>(2)地区別計画の推進 地域と地区別支援チームの協働により、第4期地区別計画を推進し、地域福祉保健活動の充実を図ります。 会 場：区内地域ケアプラザほか 参加者：延約3,000人 〈地区別支援チーム〉 連合町内会ごとの地区別計画推進の支援を行う、区福祉保健センターの専門職・区社協職員・地域ケアプラザ職員等で構成するチーム。</p> <p>2 あいねっと推進フォーラムの開催 区計画の周知及び福祉保健活動への参加者を広げる目的で開催します。 実 施：2月 会 場：サルビアホール（非集合形式開催も検討） 参加者：約450人</p>
<p>8 「広げよう見守りの 輪」推進事業</p> <p>R 4 (1,776 千円) R 3 (1,587 千円) 差引 (189 千円)</p>	<p>ひとり暮らし高齢者や障害者など支援を必要とする人に対して、地域で日頃から見守り、緊急時や災害時にも役立つ支えあいの関係づくりを進めます。</p> <p>1 定期訪問・見守り活動支援 新型コロナウイルス感染拡大による“新しい生活様式”を踏まえ、民生委員等主な活動者へ衛生用品（手指消毒液及びサージカルマスク）を配付します。また、救急医療情報キットを配布し、緊急時の迅速な対応に役立てます。 定期訪問・見守り活動対象者数： 3,008名（4年3月末現在）</p>
<p>【区配事業】ひとり暮らし高齢者等「地域で見守り」推進事業（健康福祉局）</p> <p>75歳以上ひとり暮らし高齢者等の名簿を、区役所から民生委員と地域包括支援センターに提供し、3者で共有して必要な支援につなげます。区内全地区で、名簿をもとに民生委員が各戸訪問等を実施します。</p>	

2 災害時要援護者支援の仕組みづくり

平時からの顔の見える関係づくりを目指し、民生委員・児童委員、自治会町内会に提供した災害時要援護者名簿を活用した取組事例等の共有を行います。

<災害時要援護者名簿の提供>

令和4年4月1日現在

	自治会・ 町内会数	対象者数	名簿 登載者数	名簿 登載率
同意方式	29	2,563人	1,503人	約59%
情報共有方式	97	7,290人	6,263人	約86%
合計	126	9,853人	7,766人	約79%

同意方式：個人情報提供について同意があった方の名簿を民生委員に提供

情報共有方式：個人情報提供について拒否の意思表示がない方の名簿を自治会町内会に提供

<名簿に登載される要援護者>

- ・要介護3以上の方
- ・要支援以上のひとり暮らし高齢者
- ・障害者総合支援法のサービスの支給決定を受けている身体障害者、知的障害者、難病患者 など

【区配事業】 災害時要援護者支援事業

(健康福祉局)

災害時に自力避難が困難な要援護者の安否確認や避難支援等が円滑に行えるよう、災害時要援護者名簿を作成、地域に提供し、自主的な取組を支援します。

3年度の災害対策基本法改正等に併せて、個別避難計画等の制度をモデル事業を通して検討していきます。

2 区内経済・活力の向上

事業名（予算額）	事業概要
<p>9 「千客万来つるみ」 プロモーション事業</p> <p>R 4 (7,650 千円) R 3 (8,000 千円) 差引 (△350 千円)</p>	<p>地域の賑わいをさらに高めるため、鶴見区内の催事や点在する観光資源等を活かし、地域や企業等と連携して、集客プロモーション活動やイベントを実施します。</p> <p>1 区の魅力づくり 4月から始まったNHK連続テレビ小説「ちむどんどん」の放送をきっかけに、全国的に鶴見区への注目が集まるこの機会に、地域、団体、企業、大学等様々な主体と連携して、地域活性化策に取り組みます。</p> <p>2 区の魅力発信 「ことりっぷ横浜鶴見」や「沖縄タウン鶴見マップ」など、区内の見どころスポットやイベントなどを紹介する媒体を作成し、鶴見区の魅力発信に取り組みます。</p>
<p>【区配事業】 Garden Necklace YOKOHAMA 2022 事業 （環境創造局）</p> <p>Garden Necklace YOKOHAMA 2022 開催に伴い、局と連携した事業を実施します。</p>	
<p>10 多文化のまち・つるみ推進事業 【重点】</p> <p>R 4 (14,503 千円) R 3 (14,326 千円) 差引(177 千円)</p>	<p>「鶴見区多文化共生のまちづくり宣言（平成20年6月）」に基づき、鶴見区が多文化共生を推進するための事業を実施します。</p> <p>1 生活情報の発信 行政からの情報が届きにくい外国籍区民を対象に、広報よこはまに掲載されている情報や日常生活の役に立つ情報を、インターネットやFacebook等を使ってわかりやすく発信します。 また、外国籍区民が日常的に利用する店舗等を通じた情報発信など、より効果的に情報を届ける仕組みづくりに取り組みます。</p> <p>2 タブレット端末による多言語対応事業 複数言語の対応が可能なタブレット端末による通訳サービスを実施します。 対応言語：英語、中国語、韓国・朝鮮語、スペイン語及びポルトガル語等 設置台数：7台</p> <p>3 翻訳推進事業 区内各課において作成した資料等の多言語翻訳について、区で取りまとめ、一括契約を行います。</p>

	<p>4 多文化共生社会の実現に向けた調査・啓発事業</p> <p>(1) 区内在住外国人の日常生活における困りごと等に関する意識調査を通じて現状分析を行います。</p> <p>(2) 区役所内及び関係機関間において多文化共生に係る統一意識を醸成し、現状分析を通じて把握した課題等への対応を検討します。</p> <p>(3) 区内で多文化共生に係るイベントを実施し、啓発を行います。</p>
<p>【局事業】 区役所窓口におけるタブレットを活用した多言語対応の実施（国際局） 複数言語の対応が可能なタブレット端末による通訳サービスを全区で実施します。</p>	
	<p>5 鶴見国際交流ラウンジ運営事業</p> <p>外国人区民に対する相談対応や情報提供を行うとともに、区内の多文化共生を推進する取組を行います。</p> <p>(1) 相談対応・情報提供</p> <p>ア 8言語（英語、中国語、韓国・朝鮮語、ポルトガル語、タガログ語、スペイン語、ベトナム語、日本語）による相談対応</p> <p>イ 情報誌「鶴見国際交流ラウンジニュース」の発行 発行：年4回</p> <p>ウ ホームページの運営</p> <p>エ SNSを活用した情報発信</p> <p>(2) 各種教室の実施</p> <p>館内Wi-Fiを活用したオンライン会議システムの活用など、状況に応じた新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、各種教室を実施します。</p> <p>ア 託児付日本語教室・暮らしのガイダンス 実施：15回程度 参加者：延60組</p> <p>イ 学習支援教室 日本語指導を必要とする子供たちを対象に、小学生クラスと中学生クラスを設置。新型コロナウイルス感染症対策としてオンラインでも実施しています。</p> <p>ウ 外国人区民と日本人区民交流イベント 実施：10回程度 参加者：延200人</p> <p>エ 日本語ボランティア養成講座</p> <p>(ア) 入門講座 実施：10回 参加者：15人程度</p> <p>(イ) ブラッシュアップ講座 実施：5回 参加者：延100人</p>

	<p>(3)市民の多文化共生に関する活動支援 会議室や機材の貸し出し等、市民の多文化共生に関する活動場所を提供します（日本語教室、外国につながる子どもたちの学習支援、国際交流活動等）。</p>
<p>【局事業】日本語支援推進事業 (教育委員会事務局) 日本語指導が必要な児童生徒に対して、国際教室の設置をはじめ、母語による初期適応・学習支援、学校通訳ボランティア（保護者向け通訳）、日本語教室、プレクラス、学校ガイダンス、各種ガイドブックの発行等を行います。</p>	
<p>【区配事業】外国人の集住が進む4区の国際交流ラウンジ機能強化 (国際局) 外国人の集住が進む区（鶴見・中・南・緑区）の国際交流ラウンジで、コーディネーターを配置し、地域の課題解決に向けた取組を行います。</p>	
<p>11 商店街魅力発信事業 R 4 (1,300 千円) R 3 (1,200 千円) 差引 (100 千円)</p>	<p>地域コミュニティの核である商店街が地域と連携しながら、商店街の魅力を発信することにより、商店街の振興と地域のにぎわい創出に結びつくよう支援します。</p> <p>1 鶴見区商店街魅力発信支援事業補助【拡充】 商店街と地域が連携した事業に補助金を交付し、支援します。</p> <p>2 商店街にぎわい創出事業 新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けた区内の商店街や店舗の広報支援を行い、来街を促すことで商店街ににぎわいを創出します。</p>
<p>【区配事業】商店街活性化イベント助成事業 (経済局) 商店街が行うイベントにかかる経費の一部を補助します。</p>	
<p>【局事業】商店街環境整備支援事業 (経済局) 商店街の行う街路灯や防犯カメラ、駐車場、舗道等のハード整備にかかる経費の一部を補助します。(新設・改修・撤去)</p>	
<p>【局事業】安全・安心な商店街づくり事業 (経済局) 商店街の街路灯の電気・ガス料金の一部を補助します。</p>	

<p>12 地域活性化支援事業</p> <p>R 4 (3,500 千円) R 3 (3,700 千円) 差引 (△200 千円)</p>	<p>新しい生活様式の中でも地域とのつながりを感じられるよう、二つの区民まっりの開催を支援します。区民まっりが実施困難な場合にも、代替となる地域主体のイベント等を支援し、地域活性化を図ります。</p> <p>1 三ツ池公園(文化・環境)フェスティバル 区民が「文化・環境」と触れ合う機会を創ることで、区民の地域に対する興味・関心の向上を図り、地域活性化へ繋がります。 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、実行委員会において開催中止を決定。 【前回の実施】元年5月18日、県立三ツ池公園で開催。 参加者 50,000人 (実行委員会発表)</p> <p>2 つるみ臨海フェスティバル 臨海部に親しみ、愛着を深め、子どもから高齢者まで幅広い世代の誰もが気軽に参加できる場を創り、地域交流を推進します。 実 施：10月 会 場：入船公園 内 容：模擬店、ステージ発表、スポーツ体験等</p>
<p>13 地域文化・区民活動推進事業</p> <p>R 4 (2,845 千円) R 3 (2,859 千円) 差引 (△14 千円)</p>	<p>区民に様々な文化活動の発表の場と、文化・芸術の鑑賞の機会を提供し、文化活動への関心を高め、地域文化の振興を図ります。 また、区民の地域での活動を促進するため、活動を始めるきっかけとなる講座や担い手を育成する事業を実施します。</p> <p>1 地域文化推進事業 鶴見区民文化祭への補助金交付を通じて、区民の文化活動を発表する場と文化・芸術に触れられる機会をつくります。 実 施：9～12月 会 場：サルビアホール、鶴見中央コミュニティハウス、鶴見区役所 参加者：延1,500人 内 容：郷土史展、作品展、音楽・踊り等</p> <p>2 つるみ区民活動センター事業 区民のニーズや地域課題を把握し、区民活動等への支援を行うとともに、中間支援組織として区民利用施設間の連携・協力を促進します。また、生涯学習・社会教育を推進するため、区民を対象とした学びの場を提供します。 (1)相談・コーディネート・機材貸出 (2)情報提供・ボランティア登録 ア つるみ区民活動センター情報紙「あぶりお」発行 回 数：年6回(隔月) 部 数：延9,000部(1回1,500部) イ 生涯学習ボランティア「鶴見人ネット」登録</p>

(3) 講座・イベント

新型コロナウイルス感染症の状況に応じ、オンライン会議システムを活用するなど、「新しい生活様式」に合致した講座・イベントを実施します。

講座・イベント名	実施	参加者
生涯学習・社会教育推進講座 「つるみ MACHI 塾」	5回	延 150人
生涯学習ボランティア紹介展 「鶴見人ネットフェスタ」	1回	延 300人
市民活動紹介展「鶴魅力」	2月	延 500人
登録団体交流会	5月、3月	延 30人

(4) 区民利用施設間の連携強化

区民利用施設が連携・協力し、よりよい区民活動支援の体制づくりを進めていくため、施設スタッフ向け研修会・意見交換会を実施します。

実施：3回 参加者：延 60人

3 読書活動推進事業

読書推進に関する講演会や講座を開催します。

実施予定：2月（つるみ読書講演会）

【区配事業】横浜市民の読書活動推進事業

(教育委員会事務局)

「第二次横浜市民読書活動推進計画」及び「第二次鶴見区読書活動推進目標」に基づき、読書関連施設間の情報交換や連携を深めるために「鶴見区読書関連施設連絡会」や「鶴見区の読書活動を広める連絡会」等の取組を実施します。

14 区民スポーツ振興事業

R 4 (550 千円)

R 3 (1,050 千円)

差引 (△500 千円)

区民が身近にスポーツを楽しめる環境をつくり、健康増進や地域交流の活性化につながるよう、鶴見区スポーツ協会が開催する区民スポーツ大会等を支援することで、区民スポーツの普及・振興を進めます。

区民スポーツ大会等の開催（年間）：30大会
参加者：延 10,000人

3 子どもから大人まで安心・元気に

事業名（予算額）	事業概要
<p>15 ヘルスアッププラン</p> <p>R 4 (1,693 千円)</p> <p>R 3 (1,893 千円)</p> <p>差引 (△200 千円)</p>	<p>区民の平均自立期間（日常生活に介護を要しない期間の平均）を延ばすため、区民が意識的に健康づくりに取り組めるよう健康に関する講座や啓発等を実施します。</p> <p>1 生活習慣病予防</p> <p>(1)あらゆる世代への健康啓発 地域での講座や区民利用施設等で生活習慣病や健診・がん検診等について啓発を行います。 実施：通年 会場：町内会館等 対象者：がん検診、特定検診受診対象年齢の区民</p> <p>(2)運動普及啓発 区民が日常的に無理なく運動を取り入れられるように、媒体を活用しての啓発を行います。</p> <p>2 ComeCome（噛む噛む）元気大作戦！（歯科保健事業）</p> <p>(1)親子わくわく歯っぴい講座 乳幼児の親子を対象に、歯みがき実習や唾液検査による歯周病予防の啓発を行います。 実施：年12回 会場：区役所 参加者：各回16組 対象者：6か月から13か月未満の乳幼児と保護者</p> <p>(2)歯周病・オーラルフレイル予防等啓発 6月の「歯と口の健康週間」や両親教室（月1回）の機会に啓発を実施します。</p> <p>3 食育事業</p> <p>(1)食イベントおよび食育研修会 6月の「食育月間」や10月の「健康づくり月間」で食育に関する啓発を行います。 また、食育に携わる関係者を対象とした研修会を年1回実施します。</p> <p>(2)幼児の食育講座 幼児期からの適切な食習慣の定着、基礎づくりを目指した講座を行います。 実施：年6回 参加者：各回20組 対象者：1～2歳児と保護者</p>

	<p>(3)食育ミニ講座 3歳児健診会場で、子どもや保護者が食について学ぶミニ講座をボランティアが実施します。 実 施：年 30 回 参加者：延 1,800 組 対象者：3歳児と保護者</p> <p>(4)離乳食教室 健康福祉局予算で実施する離乳食教室について、定員を大きく上回る参加ニーズに対応するため、開催回数を増やします。 実 施：年 12 回 ※合計 24 回 参加者：各回 10 組 対象者：7～9か月児と保護者</p> <p>4 鶴見区健康づくり推進会議 区内の民間企業や関係団体と健康課題や健康づくりの取り組みを共有し、健康増進に向けた検討を行うため健康づくり推進会議を実施します。 実 施：庁内連絡会（7月） 臨海フェスティバルでの啓発（10月） 健康づくり推進会議（1月） 対 象：区内の民間企業、関係団体等</p>
<p>16 感染症対策事業</p> <p>R 4 (1,109 千円) R 3 (910 千円) 差引 (199 千円)</p>	<p>区内施設や区民が、適切に新型コロナウイルス感染症等の予防や拡大防止に取り組めるよう研修及び啓発を行います。 また、新型インフルエンザ等発生に備え、区職員を対象とした研修及び訓練を行います。</p> <p>1 感染症対策</p> <p>(1)区内施設向け啓発 新型コロナウイルス感染症やインフルエンザ、ノロウイルス等の感染症の知識や発生時の対応方法について、関連施設に情報提供します（8月頃）。 対 象：保育所、幼稚園、高齢者・障害者施設</p> <p>(2)感染症対策指導者養成研修 新型コロナウイルス感染症や感染性胃腸炎等の患者発生時の初期対応を中心に研修を行い、施設での対策強化につなげます。 実 施：10 月（2回） 対 象：上記施設の施設管理者、従事者 参加者：延 80 人</p>

	<p>2 新型インフルエンザ等対策</p> <p>(1)区民向け啓発 新型コロナウイルス感染症や新型インフルエンザ、新興感染症についてイベントでのポスター掲示やパンフレット配布を行います。 実施：通年 会場：区役所等</p> <p>(2)区職員向け研修・訓練 新型インフルエンザ発生時の職員対応についての講義と庁舎活用訓練を実施します。 実施：11月頃 会場：区役所</p> <p>(3)臨海3区連絡会 近隣自治体（川崎市川崎区、東京都大田区、鶴見区と感染症連絡会を開催し、感染症対応に関する連携強化を図ります。 実施：2月頃</p>
<p>17 鶴見区障害児・者 暮らしいきいき事業</p> <p>R 4 (525 千円) R 3 (420 千円) 差引 (105 千円)</p>	<p>障害児・者及びその家族が地域の中でいきいきと生活できる環境づくりを進め、当事者、関係者、地域の人々が障害について理解し、行動できる仕組みづくりを進めていきます。</p> <p>1 鶴見区地域自立支援協議会の推進 障害児・者が地域で生活していくことを支援する相談機関が情報・課題の共有、支援の向上を図るための協議会を開催します。また、協議会を活用して、関係機関職員等の質の向上に資するための研修を実施します。</p> <p><構成員> 基幹相談支援センター、地域活動ホーム、精神障害者生活支援センター、地域活動支援センター、障害福祉サービス事業所、養護学校、地域ケアプラザ等 89 機関（令和4年6月1日現在）</p> <p>(1)会議 ・代表者会議：年1回（実施済） ・担当者会議：年4回（1回実施済） このほか、専門部会3部会（相談・権利擁護・精神保健福祉）をそれぞれ隔月で開催します。</p> <p>(2)研修 関係機関職員等の知識・技術の向上やネットワークの構築を図り、業務やケース支援等に生かしていくための研修を実施します。 実施：年4回</p>

	<p>2 障害理解の推進 障害者週間に合わせたイベントの実施や福祉施設の自主製品等のPR、販売支援等を行い、区民の障害理解や意識啓発に繋がります。 ・障害者週間イベント 施設等紹介パネルの展示や福祉施設の自主製品の販売等、啓発活動を行います。 実施：12月（障害者週間に合わせて実施） 会場：区役所1階ロビー等</p> <p>3 専門職のスキルアップ研修の実施 社会福祉や保健師等の専門職向けに、困難事例等に対応する上で必要な知識・技術を向上させるための研修を実施します。 実施：年8回（2回実施済）</p>
<p>18 鶴見区高齢者はつらつ生活応援事業</p> <p>R4（1,145千円） R3（1,374千円） 差引（△229千円）</p>	<p>高齢者がいつまでも生き生きとした生活ができるよう、認知症対策や介護予防について啓発事業を行います。特に、オーラルフレイル予防の推進に向け、歯科受診勧奨等について個別通知を行います。</p> <p>1 認知症普及啓発事業 地域情報誌を活用し、地域住民に向けた認知症に対する理解促進を図ります。 実施：9月、11月（全2回）の掲載を予定</p>
<p style="text-align: center;">【区配事業】 認知症支援事業 （健康福祉局）</p> <p>認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り良い環境の中で暮らし続けられるように、医療との連携、介護サービスの適切な提供を推進するとともに、地域の見守りやサービス等を含めた切れ目のない支援体制の構築を目指します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症高齢者SOSネットワーク ・認知症初期集中支援チーム ・認知症に関する普及啓発（認知症サポーター養成講座、キャラバン・メイトの育成等） 	
	<p>2 介護予防事業 (1)オーラルフレイル予防の普及啓発事業 70歳の高齢者に横浜市歯周病検診（無料）の受診勧奨とオーラルフレイル予防に関する情報を個別通知します。また、区独自に鶴見区歯科医師会と連携して作成した啓発媒体を使用し周知するとともに、歯科医師等よりオーラルフレイルに関する個別指導を実施します。 実施：6月 対象者：3,031人</p>

	<p>(2)鶴見区オリジナル介護予防体操の啓発【拡充】 「ひざひざワックン体操」啓発媒体を、区役所や地域ケアプラザ等での配架や介護予防・健康づくりに関する機会において配布し、介護予防の推進を図ります。 パンフレット：1,500部 CD：100枚 DVD：100枚</p>
	<p>【区配事業】一般介護予防事業 (健康福祉局) 住民主体の通いの場を充実させ、人と人とのつながりを通じて、参加者や通いの場が継続的に拡大していくような地域づくりを推進し、要介護状態になっても生きがい・役割を持って生活できることを目的に介護予防事業を進めます。 ・元気づくりステーション事業 ・地域リハビリテーション活動支援事業 ・介護予防普及啓発事業（口腔機能向上、ロコモ予防、ひざ体操指導者研修等）</p>
	<p>【区配事業】地域包括ケアの推進 (健康福祉局) 横浜型地域包括ケアシステムの構築に向けた鶴見区アクションプランに基づき、鶴見区の地域包括ケアシステムを推進します。</p>
<p>19 つるみ DE 子育て 応援事業</p> <p>R 4 (2,851 千円) R 3 (3,117 千円) 差引 (△266 千円)</p>	<p>妊娠中から継続した関わりで、家庭・地域の育児力をアップし、地域の子育て支援の充実と、安心して子育てができる環境を整えます。</p> <p>1 地域育児教室（赤ちゃん会） 原則第1子の0歳児と保護者を対象に月1回程度開催します。 実 施：1会27場あたり10回程度 会 場：地区センター、地域ケアプラザ等21か所</p> <p>2 親子の居場所普及事業 親子が気軽に立ち寄れる、親子の居場所「ふらっとる一む」の運営を支援し、のぼり旗等を配布します。 実 施：50か所</p> <p>3 多言語窓口子育て支援事業 子育て関係のチラシや申請書類等を多言語に翻訳することで、窓口の区民サービス向上を図ります。</p> <p>4 区長表彰事業 スポーツ・文化の分野において、顕著な功績又は優秀な成績を収めた児童・生徒に対して区長表彰を行います。 《3年度実績》 個人67名、団体25団体</p>

	<p>5 子育て情報普及啓発事業【拡充】 区役所1階の乳幼児健診会場に情報コーナーを整備し、妊娠期から出産、子育て期にわたるきめ細かい情報提供体制の充実を図ります。 また、子育てに関する情報誌「子育て応援ガイドブック」を発行します。 部 数：8,000部</p>
	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p>【局事業】乳幼児一時預かり事業 (こども青少年局) 養育者のリフレッシュを主な目的にした事業です。区内には「まめっこひろば」「実遊保育園つるみ一時保育室」があります。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p>【局事業】親と子のつどいの広場 (こども青少年局) 育児にかかわる心身の負担軽減等を図るため、親子の交流や集いの場の提供、情報提供、一時預かりを行う事業です。区内には「はなはなひろば」「キッチン」「こまーま」「Coron」があります。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p>【区配事業】地域子育て支援拠点事業 (こども青少年局) 未就学児の親子を対象に、遊びや交流スペースの提供、子育て相談、子育て情報の提供等を行う拠点として「わっくんひろば」「わっくんひろばサテライト」を設置しています。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p>【区配事業】横浜子育てサポートシステム (こども青少年局) 子どもを預かってほしい人と預かれる人が会員登録をして預かりなどの子育てニーズに対応する事業です。24年10月より子育て支援拠点「わっくんひろば」が事務局を担っています。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p>【局事業】産前産後ヘルパー派遣事業 (こども青少年局) 妊娠期または産褥期(5か月未満)にあって、日中に家事育児の支援を受けられない方にヘルパーを派遣し、育児不安や心身の不調による家事育児負担の軽減を図ります。</p> </div>
<p>20 つるみの未来を育てる保育所事業【重点】 R4 (5,229千円) R3 (3,634千円) 差引 (1,595千円)</p>	<p>区内保育施設等職員に対して保育の質向上を図るための研修や、園庭開放など市立保育所資源を活用した子育て支援を実施します。 また、保育所選択の利便性を高める保育所紹介動画の作成、外国につながる子育て世帯に向けた言語別の出張相談会など、きめ細やかな入所支援を行います。</p>

1 保育所多文化共生事業

市立保育所が中心となって、区内の保育施設等と一緒に多文化共生研修の実施や、多文化理解につながるツール等を作成します。この取組により、保育施設等職員や園児の外国文化の理解へ繋がります。

2 保育所資源活用事業

(1) 市立保育所園庭開放

市立保育所の園庭を地域の親子に開放します。また有償ボランティアを配置し、育児相談等に対応することで市立保育所を活用した育児支援を充実します。

会 場：市立保育所 4 園

対象者：地域の子育て中の親子

【区配事業】市立保育所を活用した保育資源ネットワーク構築事業

(こども青少年局)

区内を7か所のエリアに分け、市立保育所を中心に認可保育所や横浜保育室などの保育資源とともに地域子育て支援イベントや交流会を実施します。また、保育の質向上研修を行います。

(2) 図書を活用した地域子育て支援事業

市立保育所を会場にして、子育て中の親子向けに絵本の読み聞かせなどのイベントを行うことや、絵本等の貸出を行うことで育児支援や読書の機会の増大に繋がります。

会 場：市立保育所 4 園

対象者：地域の子育て中の親子

3 保育所入所支援事業

(1) 保育所マップ等作成事業

認可保育所、地域型保育事業、認定こども園及び横浜保育室の定員、保育時間等及びその位置を周知するため、鶴見区の保育所等一覧・マップ等を発行します。

< 保育所一覧等の発行 >

実 施：10 月、3 月

部 数：13,000 部

(2) 外国につながる保護者向け出張相談会【新規】

外国につながる保護者や園児が安心して園生活を送れるよう、国際交流ラウンジと連携した言語別の出張相談会の開催など外国につながる子育て世帯に向けた入園支援を行います。

< 出張相談会 >

実 施：10 回程度

対 象：外国につながる子育て世帯

	<p>(3)新型コロナウイルス対応関連事業【拡充】 新型コロナウイルスが蔓延している状況下でも、保育所選択の利便性を高めるため、引き続き、保育・教育コンシェルジュによるオンラインの個別保活相談を実施するとともに、新たに、区内保育所の紹介動画を作成します。</p>
<p>【局事業】保育所の運営 (こども青少年局)</p> <p>令和4年4月、認可保育所が1園開所しました。これにより、区内の保育所等は、116園となります。</p>	
<p>21 鶴見区虐待予防事業</p> <p>R 4 (2,574 千円) R 3 (2,651 千円) 差引 (△77 千円)</p>	<p>子育てに関する負担を軽減し、児童虐待やDV（ドメスティックバイオレンス）の予防を目指します。</p> <p>1 親支援講座 子どもとのコミュニケーション学習を目的とした講演会、支援者向け研修会を開催します。</p> <p>(1)子育て講演会 実施：年1回 対象：2歳前後の児を持つ保護者 内容：イヤイヤ期への対応を中心とした講義</p> <p>(2)親支援講座の動画作成【新規】 子どもとのコミュニケーションのとり方や、効果的な伝え方・ほめ方等に関する動画を作成します。</p> <p>(3)支援者向け研修会 実施：年1回 対象：育児支援関係施設職員等 内容：虐待予防に関する知識の共有</p> <p>2 専門家相談 子育て中の親の不安を軽減するため、専門家による相談を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・臨床心理士による子育て中の親の相談（年42回） ・弁護士による相談（年8回） ・精神科医師による精神疾患に関する相談（年6回） ・学識経験者による児童虐待に関する相談（年10回） <p>3 虐待予防中学校等出張講座 中学校3年生を対象とした講座を行います。また、思春期の教育に関わる生徒指導専任教諭・養護教諭等を対象に研修会を実施します。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中学校 3 年生対象（1 校） 性感染症 妊娠から出産 赤ちゃんを育てること ・ 生徒指導専任教諭・養護教諭等対象（1 回） 思春期に関する研修会
<p>【区配事業】 児童虐待予防啓発地域連携事業 （こども青少年局）</p> <p>児童虐待防止の地域への啓発を行うと共に、関係機関への研修や職員を対象にした専門研修を行い、虐待対応のスキルアップを図ります。</p>	
<p>【局事業】 産後母子ケア事業 （こども青少年局）</p> <p>虐待のリスクが高い母子を対象に、助産所等が、デイケア及びショートステイを行い ①お母さんのケア ②赤ちゃんのケア ③その他指導相談等を行う、養育支援を目的にした事業です。市内 15 か所の助産所等で実施します。</p>	
<p>22 生活衛生サポート事業</p> <p>R 4（ 848 千円） R 3（ 876 千円） 差引（ △28 千円）</p>	<p>食品・環境衛生に関する最新の情報提供・啓発や、犬猫の適正飼育啓発やねずみ駆除の支援などを行い、区民が安全・安心に快適な生活が送れるようサポートします。</p> <p>1 食品衛生関係事業</p> <p>(1) ノロウイルスによる食中毒の予防 高齢者施設、病院など重点対象施設への立入指導や、食品提供を行うボランティアへの出前講座などを行います。</p> <p>ア 鶴見区食事サービス連絡会衛生講習会 実 施：7 月 会 場：鶴見区福祉保健活動センター</p> <p>(2) 食肉を原因とした食中毒の発生防止 食品関係営業施設への立入指導や、講習会などによる啓発を行います。</p> <p>(3) HACCP による衛生管理手法の導入に向けての支援 対 象：食品関係営業者</p> <p>2 環境衛生関係事業 ねずみ及び衛生害虫などによる健康被害防止啓発や、駆除相談、駆除機材の貸出などを行います。</p> <p>3 人と動物の共生推進事業</p> <p>(1) 動物介在活動ボランティア支援事業 高齢者施設等への訪問ボランティア支援のため、参加する動物及び飼い主の審査会を開催します。 実 施：11 月</p> <p>(2) 犬猫の適正飼育の啓発 ア 適正飼育講習会の開催 実 施：8 月</p>

	<p>イ 地域防災拠点訓練等での災害時ペット対策の啓発</p> <p>(3) 飼い主のいない猫対策事業 超音波式ねこ被害軽減機の貸し出しや、地域が取り組む飼い主のいない猫対策への支援を行います。</p>
<p>23 青少年健全育成事業</p> <p>R 4 (1,450 千円) R 3 (2,143 千円) 差引 (△693 千円)</p>	<p>青少年の健全育成を図る団体を支援し、健全育成を推進します。また、地域社会において青少年が健やかに成長する空間の創出を目指し、地域の輪を広げる取組を実施します。</p> <p>1 青少年交流活動推進事業</p> <p>(1) 鶴見区子どもサマーキャンプ事業 小学生の自然体験活動の機会の充実と異年齢交流の促進のため、主催の鶴見区子ども育成会連絡協議会に対し補助金を交付します。また、本事業を通じて、中高生からなる鶴見区ジュニアリーダーズクラブの育成を支援します。 実 施：7月、1泊2日</p> <p>(2) 青少年育成サイエンス交流事業 横浜サイエンスフロンティア高等学校と連携し、青少年の科学への興味関心を高め、想像力や探究心を育むとともに、小学生と高校生との異年齢間交流により、ともに育ち合う機会を創ります。 実 施：8月～12月</p> <p>2 青少年の居場所運営支援事業 地域・団体等による青少年の居場所運営の取組に対し、補助金を交付します。 対 象：4か所</p>

【局事業】よこはま東部ユースプラザの運営補助 (こども青少年局)

地域において不登校やひきこもり状態などにある青少年（15歳～39歳）の自立を支援する「地域ユースプラザ」の運営費を補助します。

(事業内容)

地域における総合相談（電話相談、来所相談等）、ひきこもり状態からの回復期にある青少年の居場所の運営、社会体験や就労体験プログラムの実施、地域の関係支援機関・区役所とのネットワークづくり、応援パートナーの養成、派遣等

【局事業】ひきこもり等の困難を抱える若者の専門相談 (こども青少年局)

青少年相談センター所管の補助事業として、鶴見区では東部ユースプラザの地域連携相談員が、毎月2回（第2・第4の水曜日午後）、区役所で相談支援を行います。

支援対象者は横浜市在住で、ひきこもり等の困難を抱える若者15歳から39歳の方とその家族です。

<相談までの流れ>

受付方法：事前に電話等で予約

相談時間：13：30～16：20（各50分・3枠）

当日受付：鶴見区役所3階 こども家庭支援課4番窓口

【区配事業】寄り添い型生活支援事業 (こども青少年局)

◇つるみ元気塾

生活困窮や養育困難等の課題を複合的に抱えた世帯の小中学生に対して、自信・達成感・肯定感をもたせ、円滑な学校生活を送るための支援・生活体験・総合的な支援を行う支援施設「つるみ元気塾」を運営し、必要な支援等を行います。

【区配事業】寄り添い型学習支援事業

(健康福祉局)

◇つるみ未来塾（中学生対象）

生活困窮状態にあるなど養育環境に課題がある子どもたちの将来の自立に向けた基盤づくりのため、中学1～3年生を対象に高等学校等への進学に向けた学習支援を行います。

◇つるみプラス（高校生世代対象）

生活困窮状態にあるなど養育環境に課題がある高校生の中途退学防止のための居場所づくり事業を行います。また、高校生世代（概ね15歳から18歳）の子どもを対象に、社会生活に必要な情報や体験の機会を提供する事業を行います。

24 鶴見区環境行動推進事業

地域、事業者、区民活動団体との連携を一層強め、環境行動の啓発活動を推進します。

R 4 (1,152 千円)

R 3 (1,152 千円)

差引 (0 千円)

1 環境行動PR事業

(1)環境行動の普及啓発

環境行動に興味をもってもらい、日常生活においてできる範囲で環境行動を実践するためのきっかけづくりを目的に、脱温暖化・3R夢行動の紹介、普及啓発を行います。

(2)企業等と連携した区内小中学校向け出張授業・工場見学

民間企業等が実施する環境や社会をテーマとした出張授業・工場見学の内容を冊子「鶴見区 企業の出張授業と工場見学の手引き」として取りまとめ、区内の小中学校に配布し、授業での活用を促します。

(3)鶴見区地球温暖化対策・3R夢推進会議

実施：6月

2 緑のカーテン事業

緑化や省エネ化の促進のため、引き続き、区庁舎及び土木事務所緑のカーテン、並びに区庁舎の壁面緑化を実施します。

(1)緑のカーテン

実施：5～11月

場所：区庁舎2階警察署側窓（戸籍課前）

土木事務所1階

(2)壁面緑化

場所：区庁舎1階警察署側壁面

<p>25 つるみクリーンタウン事業</p> <p>R 4 (3,519 千円) R 3 (3,623 千円) 差引 (△104 千円)</p>	<p>横浜市一般廃棄物処理基本計画「ヨコハマ3R夢(スリム)プラン」の目標である3R、特にごみと資源のリデュース(発生抑制)による脱温暖化を推進するため、普及・啓発活動を区民と共に推進します。</p> <p>1 ヨコハマ3R夢推進事業 3Rの推進につながる、分別、食品ロスの削減やプラスチックごみの削減に向けた普及、啓発活動を進めます。</p> <p>(1)区民向けイベントでの3R啓発 ア 三ツ池公園フェスティバル(5月) ※中止 イ つるみ臨海フェスティバル(10月) ウ つるみ3R夢フェスタ(7月) ※中止 エ つるみ夢ひろば in 総持寺(11月) ほか</p> <p>(2)食品ロス削減に向けた普及啓発活動 区役所常設の食品回収箱をはじめ、区内各所でフードドライブ活動を実施・支援します。</p> <p>(3)保育園等での環境学習 次代を担う子どもたちに、3Rやプラスチックごみの問題等を知ってもらい、環境に対する意識を高めるため、出前講座を行います。 実 施：小学校2校(～7月)、保育園6園(～7月)</p> <p>(4)生ごみ堆肥化の普及啓発 生ごみの減量を目的とした環境にやさしい土づくり(土壌混合法)の普及に向けて、公共施設や保育園等での出前講習を行います。 実 施：小学校1校(6月)</p> <p>(5)鶴見区地球温暖化対策・3R夢推進会議 実 施：6月 〈24-1(3)(P.64)再掲〉</p> <p>(6)分別相談対応 生活様式の変化による家庭ごみの増加や、外国人市民が多いことも踏まえて、多言語版ちらし等を活用するなど、分別相談・啓発を行います。</p> <p>2 鶴見区クリーンアップ事業 地域清掃の支援、不法投棄防止に向けた啓発を実施します。</p>
--	--

	<p>(1)鶴見クリーンキャンペーン 地域の各団体（自治会町内会、老人会、企業、学校等）へごみ袋や軍手を配布し、地域の清掃活動を支援します。 実施回数：年2回</p> <p>(2)まちかど花壇事業 不法投棄を防止し、「明るく、きれいな街」にするため、花苗を配布し、地域の花壇整備を支援します。 実 施：春・秋（年2回）</p> <p>(3)鶴見川クリーンキャンペーン 鶴見川桜・緑化実行委員会の主催で、地域と共に鶴見川流域の清掃活動を行います。 実 施：6、10月（年2回）</p> <p>(4)喫煙マナー啓発 ポイ捨てや歩きたばこを防止するため、喫煙禁止区域を中心にマナー啓発を行います。</p>
<p>【局事業】不法投棄防止対策事業 （資源循環局） 不法投棄の多い場所において夜間監視パトロールを行います。</p>	
	<p>(5)道路ふれあい月間 鶴見駅周辺地域で、地域の方や周辺事業者と協働し、打ち水や大規模な一斉清掃、道路に関するPR活動を行います。 実 施：9月</p>

道路局・環境創造局の主な局事業及び区配事業

①【局事業】踏切対策 (道路局)

「横浜市踏切安全対策実施計画」(平成28年3月)に基づき、八丁畷第1踏切等の安全対策を実施しています。

②【局事業】末吉橋架替事業 (道路局)

令和3年12月に車道を仮橋へ切り替えました。令和4年度は、旧橋の撤去工事等を進めています。

③【局事業】鶴見川人道橋整備事業 (道路局)

令和3年は現地の事前調査や河川管理者との協議を進め工事着手しました。令和4年度も、引き続き、下部工の工事を進めています。

④【区配事業】公園施設改良事業 (環境創造局)

下野谷町第二公園ほか14公園について、遊具やベンチなどの施設改良工事を実施しています。

⑤【局事業】下水道整備工事 (環境創造局)

引続き、状態監視保全により鶴見地区、及び末吉地区などで下水道の再整備工事を実施しています。

⑥【局事業】下水道耐震化工事 (環境創造局)

地域防災拠点・応急復旧活動拠点・災害拠点病院等で下水道の耐震化工事を実施しています。

4 区民サービスの向上

事業名（予算額）	事業概要
<p>26 鶴見区広報・広聴事業</p> <p>R 4 (3,001 千円) R 3 (2,869 千円) 差引 (132 千円)</p>	<p>増加する高齢者や外国人住民、転入してくる子育て世代等、区民に必要な情報が的確に届くよう様々な媒体を活用し、多角的な広報事業を展開します。</p> <p>また、区民ニーズや地域の課題を把握し区政運営に反映させることを目的に広聴事業を展開します。</p> <p>1 広報・広聴事業</p> <p>(1) 区ウェブサイト等その他広報事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ SNS、区ウェブサイトによる区政情報の発信 ・ 多言語対応の広報紙閲覧サービスアプリの導入 ・ 鶴見区のマスコットキャラクター『ワックン』の活用による区のPR <p>(2) 広聴事業</p> <p>「市民の声」事業に基づき、区民や地域の意見を収集します。 広聴受付件数〔令和3年度：599件〕</p> <p>2 生活・防災マップ等発行事業</p> <p>(1) つるみ生活・防災マップ 〈1-1(6)(P.40)再掲〉 発行：11～12月 部数：17,000部</p> <p>(2) 鶴見区バスマップ 発行：3月 部数：9,000部</p>
<p>27 発見つるみ！～データでみる鶴見区～</p> <p>R 4 (520 千円) R 3 (520 千円) 差引 (0 千円)</p>	<p>区民が鶴見区に親しみを持っていただけるよう、各種統計データをコンパクトにわかりやすくまとめた冊子と戸籍課窓口等で配布するための概要版（A4版1枚）を発行します。</p> <p>各種統計データは、利用者が活用しやすいようホームページにオープンデータを掲載しています。</p> <p>発行：2月 冊子印刷部数：1,500部 概要版印刷部数：5,000部</p>

<p>28 鶴見区人材育成 推進事業</p> <p>R 4 (3,983 千円) R 3 (3,086 千円) 差引 (897 千円)</p>	<p>全職員が鶴見区に対する愛着を持ち“チームつるみ”の一員としてより一層意欲・能力を発揮できるよう人材育成に取り組むとともに庁内のコミュニケーション・情報共有を促進し、業務効率化を図ります。</p> <p>また、区民一人ひとりが人権問題の重要性を認識し、人権感覚を磨く機会となるよう、人権啓発講演会や広報誌等を活用した人権啓発に取り組みます。</p> <p>1 人材育成推進 人材育成や人権啓発、職員企画・提案型など様々な研修を通して、職員として必要なスキルの習得や意識改革を進めます。</p> <table border="1" data-bbox="555 645 1433 927"> <thead> <tr> <th>研修</th> <th>実施内容等</th> <th>実施時期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①窓口サービス向上</td> <td>満足度調査 (来庁者アンケート)</td> <td>10月～随時</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">②人権啓発研修</td> <td>責任職グループ研修</td> <td>6月～2月</td> </tr> <tr> <td>職員向け研修</td> <td>6月～随時</td> </tr> <tr> <td>③職員企画・提案型研修</td> <td>テーマ募集・研修実施</td> <td>7月～随時</td> </tr> <tr> <td>④改革推進委員会</td> <td>委員募集・取組実施</td> <td>通年</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 人権啓発 (1)区民一人ひとりが人権問題の重要性を認識し、人権感覚を磨く機会となるよう、市民向け人権啓発講演会を開催します。</p> <p>実 施：11月 会 場：サルビアホール 参加者：500人 ※感染症拡大状況により、収容数は変更します。</p> <p>(2)広報誌等を活用した市民向け人権啓発を行います。</p> <p>3 ICTの活用促進 With コロナを前提としたオンライン会議システムの維持・管理等の環境整備や、庁内のペーパーレス促進による業務効率化を図ります。</p>	研修	実施内容等	実施時期	①窓口サービス向上	満足度調査 (来庁者アンケート)	10月～随時	②人権啓発研修	責任職グループ研修	6月～2月	職員向け研修	6月～随時	③職員企画・提案型研修	テーマ募集・研修実施	7月～随時	④改革推進委員会	委員募集・取組実施	通年
研修	実施内容等	実施時期																
①窓口サービス向上	満足度調査 (来庁者アンケート)	10月～随時																
②人権啓発研修	責任職グループ研修	6月～2月																
	職員向け研修	6月～随時																
③職員企画・提案型研修	テーマ募集・研修実施	7月～随時																
④改革推進委員会	委員募集・取組実施	通年																
<p>29 魅力ある区役所 づくり事業</p> <p>R 4 (13,426 千円) R 3 (13,426 千円) 差引 (0 千円)</p>	<p>区民の多様なニーズに的確に対応できるよう、清潔かつ快適な区役所環境の整備を図り、区民が利用しやすい区役所の実現を目指します。</p> <p>乳幼児を伴って区役所を利用される方の利便性を向上するため、区役所1階の託児施設(キッズランド)において、月・水・木曜日の8時50分から16時10分(12時から13時までを除く)までの必要な時間、乳幼児を預かります。</p>																	

令和5年度 鶴見区予算編成の考え方について（案）

令和5年度の鶴見区予算では、次の4つの柱を中心として、区民の安全・安心を守りながら、「誰もがいつまでも住み続けたいまち」を目指します。

1 地域力の強化

- ・地域の防災力向上に寄与する自助・共助の取組を積極的に支援し「災害に強いまちづくり」を進めます。
- ・防犯・交通安全対策や「見守りの輪」の推進など、「地域のかやつながりを育むまちづくり」を進めます。

2 区内経済・活力の向上

- ・地域が主役となって進める賑わいづくりなど、「鶴見の魅力を活かしたまちづくり」を進め、その魅力を内外に発信することにより、より一層のまちの活性化を目指します。
- ・多くの外国人が暮らすまちとして、誰もが安心して暮らせる「多文化共生のまちづくり」を進めます。

3 子どもから大人まで安心・元気に

- ・身近な地域での子育て支援や健康づくりなどの取組をより充実させ、子どもから高齢者まで、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせる「福祉のまちづくり」を進めます。

4 区民サービスの向上

- ・区民に最も身近な行政機関として、区役所をはじめとした区内の各事業所において、丁寧でわかりやすい対応を心掛け、「おもてなしの気持ちあふれるサービス提供」を進めます。